

年 報
平成 23 年度

栗東歴史民俗博物館

も く じ

1. 運営基本方針・重点目標	2
2. 施設の概要	3
(1) 沿革	4
(2) 施設の概要	4
(3) 平成23年度に行なったメンテナンスの記録と課題	7
3. 企画展等開催事業	8
(1) 展示	8
(i) 通史展示「栗東の歴史と民俗」	8
(ii) 特集展示およびその他の展覧会	10
① 特集展示など	10
② ロビー展示	11
③ その他の展覧会	11
(2) 教育普及活動	11
(i) 各種講座	11
① 市民学芸員研修講座	11
② 展覧会にともなう講演会・関連行事等	11
③ 旧中島家住宅での体験講座	11
④ こども考古学体験教室	11
(iii) 学校との連携	12
① 博物館教室「昔の暮らし」	12
② 勤労体験学習（チャレンジウィーク事業）	13
③ 博物館実習生の受入れ	13
(iv) 情報の発信	14
① 刊行物	14
② ホームページ等による広報活動	14
③ ポスター・チラシ等による広報活動	14
4. 市民参画推進事業	15
(1) 栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会（通称：「いがぐりの会」）	15
(i) 市民学芸員研修講座	15
(ii) 例会『東海道名所図会』輪読会	15
(iii) 竹村定治コレクション（鉄道資料コレクション）の調査・整理	16
(iv) 博物館教室「昔の暮らし」への参画	16
(v) 博物館講座「かまどめしを炊こう!!」への参画	16
(2) RISS ミュージアムロビーコンサート	16
5. 史料の収集と保管・活用	17
(1) 史料の収集	17
(i) 購入資料	17
(ii) 受贈資料	17
(iii) 受託資料	17
(iv) 移管資料	17
(v) 資料修復	17
(vi) 受贈図書	18
(2) 史料の保管	30
(i) 収蔵環境管理	30
(ii) 生物被害対策	30
(3) 史料の活用	30
(i) 資料貸出	30
(ii) 特別利用	30
5. 組織と管理運営	35
(1) 組織	35
(2) 職員	35
(3) 職員の活動	35
(4) 博物館協議会	36
(5) 決算	38
(6) 入館者数	39

1.運営基本方針および重点目標

《平成 23 年度 栗東歴史民俗博物館運営基本方針》

1. 基本方針

栗東歴史民俗博物館は、地域の優れた歴史的文化遺産を市民の共通遺産として受け継ぎ、次の世代へと伝えていくため、地域にかかわる博物館資料の収集・保存に努め、博物館資料の情報を広く市民に提示することを目的としています。地域文化を物語る資料の掘り起こしを進め、展覧会や体験学習をとおして資料の公開、活用に努めます。住民一人ひとりの自主的な生涯学習活動を支援し、市民に活用される、開かれた博物館づくりを基本に、地域とともに歩み、歴史を身近に感じられるまちづくりの推進に寄与してまいります。

2. 重点目標「市民とともに楽しみ、活動する博物館へ」

歴史民俗博物館では、常設展示の充実に努め、2 度の収蔵品展を開催し、栗東の豊かな歴史と文化にふれる良質で分かりやすい展覧会を提供します。また、大字単位で地域の歴史と文化を探求する小地域展では、旧金勝村から東坂地区をとりあげ、地域資料の再発掘に努めてまいります。

歴史を学び地域の誇りを育む博物館として、地域に関わる博物館資料の収集・保存・調査を進め、一括収蔵の資料について詳細な目録化を進めます。また、市民とともに楽しみ、活動する博物館として、市民学芸員の自主的な学習支援の充実に努めるとともに、児童生徒等が地域の資料に親しみ、地域文化の継承を図るため、博物館教室「昔のくらし」や「かまどめしを炊こう」などの事業を充実します。

2.施設の概要

(1) 沿革

昭和 56 年 9 月	栗東町総合計画基本計画に歴史民俗資料館の建設が設定
昭和 57 年 11 月	(財)栗東町文化体育振興事業団より早期建設及び建設促進についての要望書が出され、請願書として採択される
同 59 年 11 月	
昭和 60 年 3 月	自然休養公園構想が策定され、文化教養施設ゾーンに資料館建設が位置づけられる
昭和 60 年 7 月	(財)栗東町文化体育振興事業団に「(仮称)栗東町歴史民俗資料館及び図書館建設構想」策定の委託を行う
昭和 61 年 1 月	(財)栗東町文化体育振興事業団より提出された「(仮称)栗東町歴史民俗資料館及び図書館建設構想」報告書を町議会に報告
昭和 61 年 4 月	社会教育課に歴史民俗資料館開設準備係を設置
昭和 61 年 10 月	栗東町歴史民俗資料館建設準備委員委嘱(委員 9 名)
昭和 62 年 4 月	歴史民俗資料館準備室設置
昭和 62 年 9 月	展示基本設計業務をトータルメディア開発研究所に委託(～昭和 63 年 3 月)
昭和 62 年 10 月	建築設計・監理業務を富家建築事務所に委託(～平成元年 3 月)
昭和 63 年 5 月	展示実施設計業務をトータルメディア開発研究所に委託(～平成元年 3 月)
昭和 63 年 5 月	用地造成工事始まる
昭和 63 年 7 月	(仮称)栗東歴史民俗博物館新築工事着工
平成 元年 3 月	(仮称)栗東歴史民俗博物館新築工事竣工
平成 元年 7 月	展示工事着工 トータルメディア開発研究所(～平成 2 年 8 月)
平成 2 年 9 月 22 日	開館記念式典
平成 2 年 9 月 23 日	開館記念講演会「奈良時代の仏教文化―渡来と土着―」(講師：梅原 猛 氏) 開館記念展「栗東の宗教文化」開催
平成 6 年 5 月	旧中島家住宅一般公開
平成 6 年 8 月	博物館法に基づく博物館登録
平成 6 年 9 月	町制 40 周年記念展「近江と馬の文化」開催
平成 7 年 10 月	開館 5 周年記念展「金勝寺―良弁説話と二十五別院―」開催
平成 9 年 2 月	文化財保護法の規定に基づく公開承認施設として承認される
平成 12 年 10 月	開館 10 周年記念展「鈎の陣とその時代」開催
平成 13 年 10 月	市制施行記念展「近江の街道」開催
平成 13 年 10 月	市制施行記念展パネル展「栗東市の誕生」開催
平成 14 年 3 月	公式ホームページ開設
平成 14 年 11 月	文化財保護法の規定に基づく公開承認施設として再承認される
平成 15 年	市民学芸員研修の開催(各期 2 か年、4 期開催)
平成 19 年 9 月	文化財保護法の規定に基づく公開承認施設として再承認される
平成 19 年 10 月	旧中島家住宅が文化財保護法に基づく登録有形文化財として登録される
平成 20 年 4 月	栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会(通称：「いがぐりの会」)発足
平成 21 年 11 月	里内文庫資料が滋賀県指定有形文化財に指定される
平成 22 年 9 月	市民協働事業「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」開催
平成 23 年	市民学芸員研修講座の開催

(2) 施設の概要

【本館】

建築工事の概要

設計・監理	富家建築事務所
設計期間	昭和62年10月～昭和63年5月
施工	建築・機械 村本・笹川組共同企業体
電気	近畿電気工事(株)
敷地面積	7,410.95 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
	基礎 PHC杭、回転ミルク埋め込み工法
規模	地上2階建、塔屋1階
軒高	9.3m 主なスパン／12m×7m
最高高	14.3m 階高／6.3m (展示室)
天井高	展示室 4.5m・収蔵庫3m
建築面積	2,040.96 m ²
延床面積	2,935.00 m ² 1階 1,900.55 m ² 2階 987.91 m ²
面積配分	導入 176.85 m ² (6.0%)
	展示 710.52 m ² (24.2%)
	教育普及 258.41 m ² (8.8%)
	収蔵 873.66 m ² (29.8%)
	調査研究 228.75 m ² (7.8%)
	管理・他 686.81 m ² (23.4%)
	合計 2,935.00 m ² (100.0%)
建ぺい率	29.4% 容積率 42.3%
指定地域地区	第一種住専、住居、市街化調整区域
工期	昭和63年7月～平成元年3月

展示工事概要

設計・施工	トータルメディア開発研究所
基本設計	昭和62年9月～昭和63年3月
実施設計	昭和63年5月～平成元年3月
工期及委託	平成元年7月～平成2年8月

設備概要

空調	調	各系統空調機より単一ダクトと、VAV方式＋ファンコイル方式 特別収蔵庫・収蔵庫1、収蔵庫2、収蔵庫3、第1展示室・第2展示室、研修室、 学芸室の各系統毎に空調機設置
		熱源 空気熱源ヒートポンプチラー 冷温水同時取出型50RTX2基 冷温水切替型 50RTX1基
給排水衛生		給水 栗東市水道直圧方式 給湯 電気温水器、電気湯沸器 排水 汚水、雑排水合流を市下水道へ放流
電気		受電 6KV 375KVA

照 明	配電	電灯	単相 75KVA 100/200V
	動力	3相 300KVA	200V
防 災	展示室・研修室	調光器を装備し高演色性、紫外線防止用電球色蛍光灯を使用、第1展示室では一部白熱灯併用、第2展示室・研修室では展示構成の変化にたいしてライティングダクト使用による白熱灯併用を可能としている。	
	展示ロビー・収蔵庫	紫外線防止用電球色蛍光灯	
昇 降 機	その他／一般照明		
	消火／屋内消火栓、消火器		
	ハロンガス消火設備／各展示室、各収蔵庫		
	感知／自動火災報知設備		
	排煙／自然排煙		
昇 降 機	防犯／機械警備		
	中央監視盤設備 設備機器の運転及び監視		
	荷物用油圧エレベーター1台 2,000 kg 30M/MIN		

主な内部仕上

収 蔵 庫	床／鋼製根太組・コンパネ+ブナフローリング
	壁・天井／ギャラリーボルト (特別収蔵庫・第1収蔵庫)
	繊維混入ケイ酸カルシウム板 (第2収蔵庫・第3収蔵庫)

館内平面図・面積表



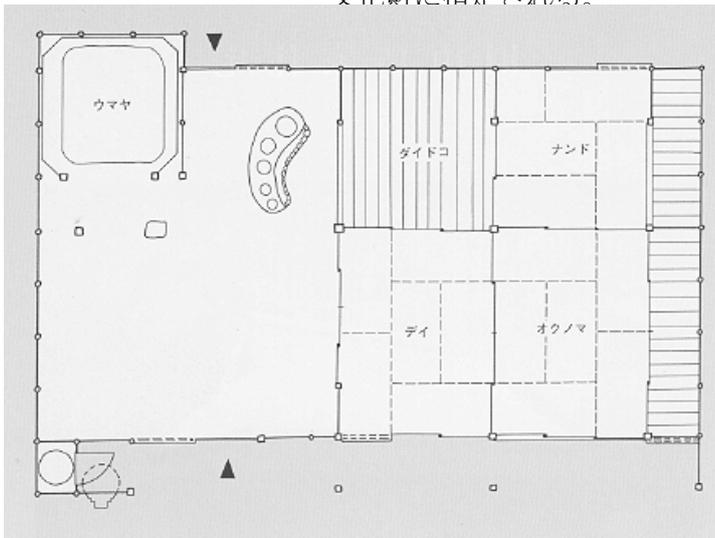
導入部門	風除室	23.1	収蔵部門	収蔵庫3	127.69	管理部門 ・その他	控室	6.08
	ロビー・ラウンジ	153.75		収蔵庫前室1	45.21		洋式便所	5
展示部門	第1展示室	383.61	収蔵庫前室2	11.01	来館者用便所		29.65	
	第2展示室	180.61	学芸室	114.27	掃除用具入		2.2	
	展示ロビー	91.53	調査室	28.32	職員用便所1		7.97	
教育普及部門	展示資材室	54.77	資料室	11.96	職員用便所2		2.16	
	研修室	191.8	シャワー室	32.22	倉庫1		29.92	
収蔵部門	資材倉庫	66.61	写場	1.25	倉庫2		5.87	
	搬入口	39.45	暗室	8.93	機械室・電気室		129.42	
	荷解室	70.9	管理事務室	44.08	ハロンボンベ室		13.24	
	一時保管庫	24.5	館調湿	11.84	消火ポンプ室	10.28		
	修理工作室	60.43	会議室	57.13	EV	28.48		
	燻蒸室	29.74	受付	10.12	EV機械室	27.72		
	特別収蔵庫	134.61	湯沸室	4.67	廊下	189.09		
	収蔵庫1	97.11	更衣室	11.72	階段	43.72		
収蔵庫2	233.01	印刷室	8.62	ダクトスペース	8.19			

【旧中島家住宅（移築民家）】

建築工事の概要

設計・監理	吉田社寺並一般建築事務所
設計期間	平成5年5月14日～平成6年2月28日
施工	建築 (株)北中建設
施行期間	平成5年10月15日～平成6年3月25日
施行	平成6年1月31日～平成6年3月20日
建物構造	木造平屋建て民家
	桁行 12.665m 梁間 7.95m (一部 8.68m)
	本建：入母屋造り茅葺き (桁行 8.96m 梁間 4.95m)
	四面庇付棧瓦葺
	建築面積 102.58 m ² 延床面積 91.81 m ²

概要 当建物は、幕末から明治初年（推定）に、現栗東市霊仙寺に創建された農家住宅で、昭和61年2月に解体され、平成5年度に解体材と新補材により博物館敷地内に移築復原した。当民家は創建以来、幾度ももの改造及び修理を経ているが調査および史料により創建当初の型式に復元した。なお、建物の維持管理上、附帯工事として給水・排水および電気工事を施工した。平成6年3月25日竣工し、同5月1日より一般公開。平成19年10月2日、国の登録有形文化財に指定される。



平面図



外観

(3) 平成 23 年度に行なったメンテナンスの記録と課題

博物館収蔵資料の保存に万全を期し、安全で快適に利用するための博物館施設を維持するため、以下のような博物館施設・設備の良好な維持管理および収蔵品や展示物の適切な環境整備を実施した。

なお、開館以来 20 年以上を経て、各種機器の劣化が進む一方で、空調制御機器、蒸気発生器など交換部品の入手、修理は年々困難となっている。既存の機器を効率的に運用しつつ、計画的に機器のリニューアルを図っていくことが必要である。

1) 博物館施設・設備維持管理・警備等にかかる業務委託

旧中島家住宅管理業務（委託先：社団法人 栗東市シルバー人材センター）

清掃業務（委託先：株式会社日本警綜）

警備業務（委託先：総合警備保障株式会社 滋賀支社）

電極式蒸気発生器保守点検業務（委託先：ピーエス工業株式会社 大阪営業所）

消防設備保守点検業務（委託先：株式会社初田製作所 関西支社）

エレベーター保守点検業務（委託先：クマガイ工業株式会社）

自家用電気工作物設備保安管理業務（委託先：石本電気設備管理事務所）

空調設備等保守点検業務（委託先：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社）

空調機制御機器保守点検業務（委託先：株式会社山武ビルシステムカンパニー 関西支社）

燻蒸庫燻蒸・館内生息昆虫モニタリング調査業務（委託先：株式会社エフ三益）

植栽管理業務（委託先：社団法人 栗東市シルバー人材センター）

映像放送機器点検業務（委託先：キノンビクス株式会社）

2) AC-1 空調機系統静圧制御更新工事（施工：株式会社山武ビルシステムカンパニー 関西支社）

3) 第 2 収蔵庫室内温度センサ更新作業（施工：株式会社山武ビルシステムカンパニー 関西支社）

4) 加圧給水ポンプファインセンサー取替作業

（施工：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社）

5) CR-2 系統ヒートポンプチラー温水一次ポンプ分解整備作業

（施工：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社）

6) CR-3 系統ヒートポンプチラー温水一次ポンプ分解整備作業

（施工：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社）

7) CR-3 系統ヒートポンプチラー容量制御用電磁弁取替

（施工：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社）

8) CR-2 系統ヒートポンプチラー電気部品取替

（施工：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社）

9) CR-3 系統ヒートポンプチラー電気部品取替

（施工：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社）

10) CR-3 系統ヒートポンプチラー冷水一次ポンプ用電流計取替

（施工：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社）

11) ハロゲン化物消火設備容器交換（施工：株式会社初田製作所 関西支社）

12) 受電施設改修工事（施工：有限会社川野電気工事）

3.企画展等開催事業

栗東市では、平成 21 年度から 3 ヶ年の計画で「栗東市財政再構築プログラム」（「更なる財政再構築プログラム」）を策定・実施し、財政危機の回避と財政構造の健全化を図っている。歴史民俗博物館でも、同プログラムの一環として、企画展等開催事業費・博物館管理運営経費の縮減に取り組んでいる。

このような状況のもと、博物館収蔵資料を中心とした通史展示（常設展示）「栗東の歴史と民俗」の充実と、年間数本の特集展示の開催に取り組んでいる。平成 23 年度には、5 本の特集展示と 3 本のロビー展示を開催した。また、博物館教室「昔の暮らし」の開催など、移築民家旧中島家住宅や博物館収蔵資料を活用した体験学習プログラムの充実も図っている。

今後、博物館活動の活性化、利用者の拡大に努め、博物館資料の活用による社会への貢献を果たすため、事業企画能力の向上、博物館活動への市民参画の仕組みの検討、博物館を有効に利用するための情報の発信など、博物館からの働きかけを行なうことが必要である。

(1) 展示

第 1 展示室の通史展示「栗東の歴史と民俗」を考古、美術工芸、歴史、民俗などの各分野から通史的にたどりつつ、展示内容の充実をはかった。

また、通史展示の内容をより深め充実させること基本に、第 2 展示室を用いた特集展示として、「くらしの中のからくり」、「栗東の歴史風土をさぐる－金勝寺文化圏の諸像－」、「仏教美術の名品」、「石にみるくらしといのり」、「東坂の歴史と文化」を開催し、ロビー展示として「古墳時代の琴」「平和のいしずえ 2011～戦地からの手紙～」 「古代の人形（ひとがた）」を開催した。

(i) 通史展示「栗東の歴史と民俗」(第 1 展示室)

栗東の歴史と文化を、考古・歴史・民俗・美術工芸の各分野から通史的にたどる。概ね、各特集展示の展示替にあわせて、テーマや展示資料の入れ替えを行なった。

縄文時代の暮らし

栗東の代表的な縄文遺跡から、霊仙寺、辻・高野、下鈎、狐塚の各遺跡の遺物を中心に紹介。

稲作のはじまり

霊仙寺、下鈎、小柿の各遺跡から出土した遺物を通して、栗東で人々が稲作を始めた弥生時代のくらしについて紹介。

弥生時代から古墳時代の建物

弥生時代に形成された集落や大型建物が確認されている中沢遺跡や下鈎遺跡など、のちの古墳時代にもつながる近江湖南地域の拠点集落について紹介。

栗東の古墳

新開古墳、新開西古墳、狐塚古墳など、栗東を代表する古墳について紹介。また、岩畑遺跡や辻遺跡の、古墳時代の集落に関する遺物も紹介。

古墳時代の集落

岩畑遺跡や小柿遺跡など、古墳時代の栗東で形成された集落について紹介。また、平成 22 年度に下鈎遺跡で出土したものをはじめ、栗東で出土している古墳時代の琴 3 点も紹介。

古代栗太郡の役所

栗東市内での発掘調査から、古代の役所が置かれていたと考えられる手原、十里、岡の各遺跡につい

て紹介。また、霊仙寺遺跡（小平井廃寺）の古代寺院に関わる遺物も紹介。

花開く宗教文化

伝持国天立像・伝広目天立像（いずれも金勝寺所蔵）や善勝寺に伝わる仏像など、金勝寺とその文化圏（「金勝寺文化圏」）の寺院に伝わる諸像を通して、金勝山を中心に栄えた仏教文化について紹介。

足利義尚と鈎の陣

長享元年（1487）、近江国守護六角高頼を討つために將軍足利義尚が出陣し、現在の栗東市内に陣をおいた鈎の陣について、義尚の母である日野富子像（複製、原品は宝鏡寺所蔵）や、足利義尚死去の様子を記した『後法興院記』（複製、原品は陽明文庫所蔵）、「東方山安養寺再建勸進状」（東方山安養寺所蔵）などの関連史料を通して紹介。

街道の生活

東海道梅ノ木立場の名物和中散に関する資料や、目川村（現在の栗東市目川）で活動した医師・鎌田右内の所蔵した道具などを展示し、江戸時代の東海道・中山道沿いでの製薬について紹介。また、和中散や銘酒鈴鹿川など、江戸時代の東海道での名物について紹介。

村の生活

近世の栗太郡の村々で多く見られた相給について、村絵図や高札を通して紹介。

阿弥陀寺と巖誉宗真

室町時代に、近江の浄土宗の本寺としての地位を占めていた阿弥陀寺（栗東市東坂）や、同寺の整備に大きな役割を果たした三世・巖誉宗真などについて、同寺に残る彫像や関連する史料を通して紹介。

慈雲飲光とその墨蹟

正法律の興隆に尽力した慈雲飲光の事跡について、関わりの深い東方山安養寺に残る資料を通して紹介。

岡笠山

江戸時代の後期に、岡村（現在の栗東市岡）で活躍した画家・岡笠山の作品を紹介。

辻の鋳物師

辻村（現在の栗東市辻）を本貫地として全国に出職した近世最大級の鋳物師集団、辻の鋳物師について、鉄湯釜や鰐口などの資料や、関連史料を通して紹介。

紡ぐ～栗東の機織り道具～

かつて栗東で多くの人々が生業としていた機織りの道具を、収穫された棉を加工し、糸に紡ぐまでの行程順に、道具の形状や素材などの特徴と併せて紹介。

昔の暮らし

年度の後半に開催する博物館教室「昔の暮らし」にあわせて、「ともす」「はかる」「紡ぐ」の3つのテーマを通して、高度経済成長期以前の栗東での暮らしぶりを紹介。

栗東の山の神

栗東の代表的な民俗行事である山の神行事のうち、上砥山の山の神、六地蔵の山の神、山入・上田の山の神、走井の山の神を紹介。

(ii) 特集展示およびその他の展覧会(第2展示室・ロビー)

①特集展示など

小地域展「下鉤の歴史と文化」

会期：3月5日(土)～4月17日(日)、入館者数：530名(うち平成23年度：159名)

地域への知識と関心を深め地域を再認識するきっかけとして毎年度、市内のひとつの大字を取り上げ、その歴史と文化を紹介する小地域展シリーズ。平成22年度は治田地域から下鉤地区をとりあげた。

収蔵品展 栗東の民具「くらしの中のからくり」

会期：4月29日(金・祝)～7月18日(月・祝)、入館者数：1,106名

展示解説会：5月18日(水)

江戸時代に登場した「からくり人形」に結集された歯車やバネ、てこなどの「からくり」技術。その技術は、庶民の暮らしの中から生まれ、長い年月をかけて日常生活の中に取り入れられてきたものである。

この展示では、館蔵の民具資料の中から、そうしたユニークな生活の道具を紹介すると共に、実際に手を触れ、動かしてみる機会を提供することによって、その技術を体感していただいた。

収蔵品展「栗東の歴史風土をさぐる一金勝寺文化圏の諸像一」

会期：9月17日(土)～10月23日(日)、入館者数：2,046名

展示解説会：9月19日(月・祝)、10月11日(月・祝)

栗東市南部の金勝山にある金勝寺は、かつては興福寺にゆかりの深い寺院として、湖南から湖東にかけて大きな求心力を持ち、当地域の仏教文化の1つの核となっていた。そのような金勝寺をとりまく地域は、とりわけ金勝山北麓を中心に古像を多く伝え、金勝山を中心に仏教文化が栄えたと考えられることから「金勝寺文化圏」とも称されている。

この展示では、湖南地方を代表する古刹である金勝寺と、「金勝寺文化圏」の仏教文化の広がりについて、栗東市内外の社寺からご寄託いただいている彫像を中心に紹介した。

収蔵品展「仏教美術の名品」

会期：10月29日(土)～12月4日(日)、入館者数：1,688名

展示解説会：11月3日(木・祝)、11月23日(水・祝)

地域の歴史や文化を理解するためには、その地域の中にある資料を掘り起こすだけではなく、異なった地域の資料や作品と比較することも必要となる。開館より20年余を経た当館では、様々な活動を積み重ねる中で、栗東市内だけではなく市外の皆様からもご信頼をいただき、貴重な資料や作品のご寄贈・ご寄託のお申し込みをお受けしてきた。

この展示では、そのような数多くの博物館収蔵資料の中から、仏教美術に焦点を当てて紹介した。

特集展示「石にみるくらしといのり」

会期：12月17日(土)～2月19日(日)、入館者数：5,726名

展示解説会：12月24日(土)、2月4日(土)

栗東に人々の生活の痕跡がのこる縄文時代前期より、石は生活の中で重要な位置を占めてきた。石は、さまざまな生活道具として用いられ、あるいは石仏や寺院への道のりを示す丁石など、信仰とも深くつながってきた。

この展示では、発掘調査で出土した石製品を中心に紹介し、当館のシンボル展示「狛坂磨崖仏」(レプリカ)をはじめとする石造文化財とあわせて、石と人々の長い歴史をたどった。

小地域展「東坂の歴史と文化」

会期：3月3日(土)～、入館者数：787名(3月31日現在)

展示解説会：3月11日(日)

地域への知識と関心を深め地域を再認識するきっかけとして毎年度、市内のひとつの大字を取り上げ、

その歴史と文化を紹介する小地域展シリーズ。平成 23 年度は金勝地域から、東坂地区を取り上げた。

②ロビー展示

・古墳時代の琴

会期：6月5日（日）～19日（日）、入館者数：232名

平成 22 年度に下鉤遺跡（栗東市苅原地先）で出土した、全長 158cm の古墳時代の木製琴を公開。

・平和のいしずえ 2011～戦地からの手紙～

会期：7月30日（土）～9月4日（日）、入館者数：615名

開館以来、毎夏開催している「平和のいしずえ」展シリーズ。平成 23 年度は戦地と内地をつないだ書簡を中心に、軍隊生活とそれを支えた地域の活動に焦点を当てた。

・古代の人形(ひとがた)

会期：1月21日（土）～2月19日（日）、入館者数：5,039名

平成 23 年 1 月に、手原遺跡北西部（栗東市蜂屋地先）の一角で、奈良時代（8 世紀）の井戸から発見された須恵器の壺と、その中に納められていた 2 体の木製人形を公開。

③その他の展覧会

第 42 回栗東市青少年美術展

会期：1月27日（金）～29日（日）、入館者数：2,078名

滋賀県教育美術展 *滋賀県美術教育研究会と共催

会期：2月15日（水）～19日（日）、入館者数：1,519名

(2) 教育普及活動

(i) 各種講座

①市民学芸員研修講座

市民学芸員の活動の充実化、新たな市民学芸員の募集を目的として、年間 12 回の「市民学芸員研修講座」を開催。また、そのうちの 6 回を公開講座とし、広く市民に公開。詳細は後記。

②展覧会にともなう講演会・関連行事等

1) 2010・2011 年度 栗東市発掘調査成果報告会（特集展示「石にみるくらしといのり」関連行事）

日時：1月21日（土） 13:30～16:30

講師：財団法人滋賀県文化財保護協会

財団法人栗東市体育協会

栗東歴史民俗博物館

伊庭 功 氏

近藤 広 氏 藤岡 英礼 氏

佐伯 英樹 氏

雨森 智美

参加者数：41名

③旧中島家住宅での体験講座

1) 博物館講座「かまどめしを炊こう!!」

かまどでご飯を炊き、味噌汁をつくり、昔ながらのお膳で食する。

5月開催分を特別献立「目川田楽と菜飯」、8月開催分を特別献立「カンタロウと大根菜飯」、3月開催分を「栗東市林の薬師講の納豆汁」をテーマとした特別献立バージョンで開催。

開催日時：4月16日、5月14日、6月18日、7月16日、8月20日、9月17日、10月15日、

11月19日、3月17日 いずれも土曜日

10時～14時ごろ

定員毎回 20人 延参加者数：大人76名、子ども82名、計158名

④こども考古学体験教室

栗東市内には、100箇所を超える遺跡があり、縄文時代から近代までの暮らしを知ることができるさまざまな遺構・遺物が発見されている。こうした遺跡の中から、発掘調査が進行している現場での発掘調査体験のほか、身近にある遺跡の探訪、勾玉づくりの体験を通して、歴史を学び始めたこどもたちが、郷土の歴史や考古学への興味を深めるきっかけを提供した。

古代体験1「栗東の古墳をあるこう」（古墳めぐり）

開催日：8月11日（水）、参加者数：7名

古代体験2「古代の生活を体験してみよう」（火起こし、勾玉づくり）

開催日：8月12日（木）、参加者数：25名

発掘体験「手原遺跡で発掘を体験しよう!!」（発掘調査体験）

開催日：8月18日（水）、参加者数：28名

発掘体験「手原遺跡で発掘を体験しよう!!」（発掘調査体験）

開催日：8月19日（木）、参加者数：30名

(ii) 学校との連携

① 博物館教室「昔の暮らし」

栗東歴史民俗博物館では、小学校の学習単元「暮らしのうつりかわり」と連動する、小学校3・4年生向けの体験学習型プログラム博物館教室「昔の暮らし」を開催し、栗東市内のみならず、近隣市町からの参加が定着してきた。博物館教室「昔の暮らし」では、「かまどの火吹き体験」「昔の明かり体験」など、いくつかのプログラムを組み合わせて実施しており、平成21年度には、栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会会員と協力して、新たなプログラム「竿秤で重さを量ってみよう」を策定するなど、市民学芸員の協力を得て事業を実施している。

平成23年度には、学習指導要領の改訂により、学習単元「暮らしのうつりかわり」がそれまでの4年生から3年生の課程に組み込まれることとなり、2学年での受講など、博物館教室「昔の暮らし」の受講を希望する小学校数が増加した。受講する小学校数の増加、2つの学年での受講により、プログラムの内容に関する個別の要望が多様化した。可能な範囲で小学校の要望に沿えるように工夫した。また、博物館のスタッフが小学校に出向いての出前講座も、2校で実施した。

平成23年

9月21日	草津市立志津南小学校3年生（出前講座）	児童：74名	
9月30日	守山市立吉見小学校4年生	児童：136名	引率：6名
10月4日	草津市立玉川小学校4年生	児童：120名	引率：6名
10月6日	甲賀市立伴谷東小学校4年生	児童：72名	引率：4名
10月7日	草津市立志津南小学校4年生	児童：52名	引率：3名
10月12日	栗東市立金勝小学校4年生	児童：81名	引率：3名
10月13日	栗東市立葉山小学校4年生	児童：76名	引率：4名
10月14日	甲賀市立甲南第二小学校3年生	児童：23名	引率：2名
10月18日	栗東市立大宝東小学校4年生	児童：62名	引率：2名
10月18日	栗東市立大宝東小学校4年生	児童：63名	引率：2名
10月19日	草津市立南笠東小学校4年生（出前講座）	児童：59名	
10月19日	湖南市立水戸小学校4年生	児童：77名	引率：4名
10月21日	栗東市立大宝西小学校4年生	児童：80名	引率：4名
10月21日	栗東市立葉山小学校3年生	児童：62名	引率：3名
11月2日	野洲市立野洲小学校4年生	児童：141名	引率：10名
11月10日	大津市立小野小学校3年生	児童：36名	引率：3名
11月16日	大津市立比叡平小学校3年生	児童：19名	引率：2名
11月25日	野洲市立篠原小学校4年生	児童：30名	引率：3名
12月1日	湖南市立岩根小学校3年生	児童：40名	引率：3名

平成24年

1月13日	栗東市立大宝東小学校3年生	児童：71名	引率：2名
1月17日	栗東市立大宝東小学校3年生	児童：71名	引率：2名
1月18日	栗東市立治田西小学校3年生	児童：121名	引率：5名
1月19日	大津市立富士見小学校3年生	児童：107名	引率：6名
1月20日	草津市立笠縫小学校3年生	児童：92名	引率：5名
1月24日	野洲市立三上小学校3年生	児童：43名	引率：3名
1月25日	栗東市立治田小学校4年生	児童：111名	引率：4名
1月26日	野洲市立篠原小学校3年生	児童：26名	引率：5名
1月26日	滋賀大学教育学部附属小学校3年生	児童：40名	引率：2名
1月31日	草津市立南笠東小学校3年生	児童：64名	引率：4名
2月2日	栗東市立治田小学校3年生	児童：85名	引率：4名
2月3日	栗東市立治田西小学校4年生	児童：111名	引率：5名
2月7日	栗東市立治田東小学校4年生	児童：97名	引率：1名
2月8日	守山市立速野小学校4年生	児童：65名	引率：5名
2月9日	守山市立速野小学校4年生	児童：95名	引率：5名
2月9日	滋賀大学教育学部附属小学校3年生	児童：40名	引率：2名
2月10日	草津市立玉川小学校3年生	児童：102名	引率：5名
2月14日	栗東市立治田東小学校3年生	児童：81名	引率：3名
2月17日	近江八幡市立桐原小学校3年生	児童：77名	引率：3名
3月6日	滋賀大学教育学部附属小学校3年生	児童：40名	引率：2名
3月7日	栗東市立葉山東小学校3年生	児童：71名	引率：5名
年間26校受講（40回開催）、受講児童数：2,913名、引率者数：147名			

② 勤労体験学習(チャレンジウィーク事業)

自分の進路を選択できる力や将来社会人として自立できる力を育てることを目的に、中学校2年生が職場体験を行う事業に協力し、体験学習の学習先として受け入れを行なっている。平成23年度は、4校8名の生徒を受け入れ、展示補助、資料整理、体験学習補助等の体験を提供した。

栗東市立栗東西中学校	5月31日(火)～6月3日(金)(4日間)	2名
栗東市立葉山中学校	10月25日(火)～10月28日(金)(4日間)	2名
栗東市立栗東中学校	11月8日(火)～11月11日(金)(4日間)	2名
大津市立瀬田北中学校	1月31日(火)～2月3日(金)(4日間)	2名
合計4校		生徒8名

③ 博物館実習生の受け入れ

大学での博物館学芸員資格取得課程の一環として行われる、博物館実習の実習先として受け入れを行なっている。今年度は、館内での古文書整理や展示替作業のほか、小地域展「東坂の歴史と文化」の開催に向けた事前調査の一環として、東坂での石塔などの拓本採り実習を実施。

実習期間：8月23日(火)～26日(金)4日間

受入大学：同志社大学・京都光華女子大学・同志社女子大学・佛教大学・滋賀県立大学・龍谷大学
合計6大学 実習生7名

(iv) 情報の発信

平成21年度から「栗東市財政再構築プログラム」(「更なる財政再構築プログラム」)の一環として、企画展等開催事業費の縮減に取り組み、展覧会等の博物館事業にかかる広報活動のための費用を削減している。

そうした状況のなか、栗東歴史民俗博物館ホームページ、情報メール便(E-mail)での情報発信に力を入れている。その他、「広報りっとう」(栗東市広報紙)による広報ほか、各報道機関への情報提供を積極的に行なっている。また、調査研究などの成果については、年度末に紀要として公開した。

魅力的な博物館事業を企画することは元より、的確な情報発信によって、博物館活動の活性化、利用者の拡大に努めることが必要となっている。

① 刊行物

「栗東歴史民俗博物館だより vol.33」(平成24年3月)

『栗東歴史民俗博物館紀要 第18号』(平成24年3月)

② ホームページ等による広報活動

主要な更新は25回行なった。アクセス件数は13,909回(前年度比113.6%)。アクセス件数はやや減少の傾向にある。また、情報メール便(E-mail)は年間で6回発行した。

ホームページやE-mailによる広報活動は、外部への情報発信を行なっていくうえで大きな役割を果たす。今後も、こうしたツールを利用した広報活動を充実させていくことが必要である。

③ ポスター・チラシ等による広報活動

展覧会等の博物館事業にかかる広報活動のための費用を削減している中で、ポスターおよびチラシについては自主印刷を行なった。栗東市内の公共施設や、近隣の各関係機関に掲出や配布を依頼した。また、JR栗東駅および手原駅構内のポスター掲出場所を利用した。

4.市民参画推進事業

栗東歴史民俗博物館では、平成2年の開館以来、市民に活用される開かれた博物館づくりをひとつの使命として活動を続けてきた。平成15年には、市民が博物館の活動を理解する機会を設け、市民による自主的な学習の支援をとおして、市民が博物館活動に参画する道を開くことを目標に、市民参画推進事業として市民学芸員を募集し、その修了生によって平成20年度に栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会が立ち上げられている。市民学芸員の会は、博物館教室「昔の暮らし」や博物館講座「かまどめしを炊こう!!」の開催に参画するほか、平成22年度には博物館との協働事業として「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」を開催するなど、活動の幅を多様化させている。平成23年度には、新規の市民学芸員を募集するための「市民学芸員研修講座」（年間全12回）を開催した。

また、平成22年度に、栗東音楽振興会（RISS）との共催事業として3回開催した「RISS ミュージアムロビーコンサート」を、平成23年度には4回開催した。

今後も、市民に活用される開かれた博物館づくりを進めることが求められている。

(1) 栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会(通称:「いがぐりの会」)

会員数:21名

博物館への市民参画を推進するために、栗東歴史民俗博物館では、平成15年度から平成19年度まで市民学芸員研修を実施した。当館の活動や栗東の歴史や文化に興味を持つ市民を募り、2年間かけて研修を行なったもので、その修了生によって結成されたのが栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会(通称:「いがぐりの会」)である。

市民学芸員の会では、自主活動による調査研究や、博物館と協働での展覧会の開催を目指しており、当館はそのサポートを行なってきた。とりわけ、平成22年度には、市民協働事業として「竹村定治コレクション展～鉄道模型の世界～」を開催し、大きな反響を得た。

また、博物館が主催する小学3・4年生対象の博物館教室「昔の暮らし」での体験指導、博物館講座「かまどめしを炊こう!!」での補助など、複数の博物館事業を市民学芸員の協力を得て実施している。

平成23年度には、市民学芸員の活動の充実化、新たな市民学芸員の募集を目的として、年間12回の「市民学芸員研修講座」を開催。また、そのうちの6回を公開講座とし、広く市民に公開した。

(i) 市民学芸員研修講座

市民学芸員の活動の充実化、新たな市民学芸員の募集を目的として、年間12回の「市民学芸員研修講座」を開催。また、そのうちの6回を公開講座とし、広く市民に公開。

講師：兼康保明滋賀民俗学会理事(⑦、⑧)、

佐々木進当館前館長(①、②、⑤、⑥、⑨、⑩、⑪、⑫)

澁江善光栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会会長(③、④)

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| ①研修「仏像の見方・考え方」 | 開催日：5月29日(日)・6月12日(日)、参加者数：20名 |
| ②公開講座「金勝寺と狛坂磨崖仏について」 | 開催日：6月26日(日)、参加者数：23名 |
| ③研修「拓本について」(講義) | 開催日：7月17日(日)、参加者数：14名 |
| ④研修「拓本について」(実習) | 開催日：7月31日(日)、参加者数：10名 |
| ⑤公開講座「東方山安養寺の歴史と美術」 | 開催日：8月21日(日)、参加者数：21名 |
| ⑥研修「掛け軸の取扱い方」 | 開催日：9月25日(日)、参加者数：16名 |
| ⑦公開講座「新開古墳とその時代」 | 開催日：10月23日(日)、参加者数：32名 |
| ⑧研修「石造美術の見方」 | 開催日：11月20日(日)、参加者数：19名 |
| ⑨公開講座「小槻大社について」 | 開催日：12月18日(日)、参加者数：41名 |
| ⑩研修「辻の鋳物師とその作品」 | 開催日：1月15日(日)、参加者数：14名 |
| ⑪公開講座「大宝神社と神像彫刻」 | 開催日：2月12日(日)、参加者数：36名 |
| ⑫公開講座「立場の文化－旧和中散と目川田楽－」 | 開催日：3月25日(日)、参加者数：33名 |

(ii) 例会『東海道名所図会』輪読会

市民学芸員の会では、平成17年度より、月例会として『東海道名所図会』の輪読会を行なっている。

輪読会は博物館を会場として開催するが、年に1~2回程度の現地見学会も行なっている。博物館ではこれらの活動のサポートを行なった。

・輪読会

平成23年

4月24日(日) 5月29日(日) 6月26日(日) 7月24日(日) 8月21日(日)
9月25日(日) 10月23日(日) 11月20日(日) 12月18日(祝)

平成24年

1月15日(日) 2月12日(日) 3月25日(日) 計12回、延116名参加

・現地見学会

平成23年

8月1日(月) 七里の渡しと豊橋菜飯田楽 3名参加
11月28日(月) 浅井歴史民俗資料館と鶏足寺 5名参加

(iii) 竹村定治コレクション(鉄道資料コレクション)の調査・整理

平成19年に旧国鉄に勤務されていた竹村定治さん(伊勢落在住)よりご寄贈いただいた、鉄道模型や鉄道関連資料からなる総点数3,000点余りを数える鉄道コレクション(竹村定治コレクション)について、栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会と栗東歴史民俗博物館が協力して調査・整理を進めている。

平成22年度には、市民協働事業「竹村定治コレクション展~鉄道模型の世界~」として、竹村定治コレクションの中から、日本国内を走行していた鉄道の模型を中心に紹介する展覧会を開催し、大きな反響を得た。平成27年度に2回目の展覧会を開催することを目標に、調査・整理を継続している。

毎月2回実施、延57名参加

(iii) 博物館教室「昔のくらし」への参画(新規プログラムの策定、児童への体験指導・補助)

年間26校受講(40回開催)、受講児童数:2,913名 市民学芸員:延117名参加

(iv) 博物館講座「かまどめしを炊こう!!」への参画(参加者への体験指導・補助)

年間9回開催、延参加者数:大人76名、子ども82名、計158名 市民学芸員:延29名参加

(2) RISSミュージアムロビーコンサート

市民に広く音楽に親しんでいただくことを目的とする栗東音楽振興会(RISS)と、生涯学習機関として市民に活用される開かれた博物館づくりを目指す栗東歴史民俗博物館の共催で、狛坂磨崖仏(レプリカ)を臨む博物館ロビーを会場に、コンサートを開催した。

第1回目 5月22日(日) アンマークトシンガーズ
ソプラノ:奥田聖子、塚本知香、丸山依里
メゾ・ソプラノ:藤原さおり
アルト:柏森彩乃
テナー:坂本晃一、沖正樹
バリトン:藤野豊
バス:樋口卓哉

第2回目 8月7日(日) ミュージックベル演奏(栗東音楽振興会会員)
さきらジュニアオーケストラ・アカデミー 室内楽コンサート

第3回目 11月6日(日) 秋の日のピアノ 連弾とソロ
塩見亮、上田明美

第4回目 1月22日(日) 箏で初春を奏でる
麻植美弥子、麻植理恵子

いずれの回も、14時から1時間程度開催。

来場者数:第1回目115名、第2回目107名、第3回目102名、第4回目90名 合計414名

5.資料の収集と保管・活用

(1) 資料の収集

(i) 購入資料

なし

(ii) 受贈資料

資料名	員数	受入年月	寄贈者	住所
紙本墨画梅花図 岡笠山筆	1幅	H23.10	愍念寺	湖南市
ジョソウキ	1点	H24.3	個人	栗東市
ウシノクラ	1点			
ヤス	1点			
ナタネノタネマキ	1点			
看板	1点			
ジョリン	1点	H24.3	個人	草津市
オシキリ	1点			
ナタネノタタキダイ	1点			
スイシャ	1点			
カラスキ	1点			
マンガン	1点			
画報躍進之日本	39冊	H24.3	個人	栗東市
上田文次郎氏宛国松桂溪葉書	4点	H24.3	個人	東京都狛江市
旭応筆 墨竹図	1幅	H24.3	個人	京都府京都市
岡笠山筆 羅漢図	1幅			
横井金谷筆 竹筏ノ句	1幅			
現故漢画名家集鑑 安政四年刊	1鋪			
諸国家業じまん	1鋪			
呉服はんじ物	1鋪			
瑞石山由来記 明治十三年刊	1冊			
東海道人物志 (復刻版)	1冊			

(資料寄贈者ご芳名)

以下の方々より資料の寄贈を受けました。記して感謝申し上げます。(敬称略)

岩田龍一郎、宇田隆一、大澤一夫、太田与志嗣、佐々木進、野村政夫

(iii) 受託資料

資料名	員数	受入年月	寄託者	住所
愍念寺聖教類・文書等	一括	H23.10	愍念寺	湖南市
安養寺区有文書	一括	H23.11	栗東市	栗東市
行者講講箱	一括		安養寺 南区自治会	

(iv) 移管資料

なし

(v) 資料修復

なし

(vi) 受贈図書

受 贈 者 名

書 名

北 海 道

苫小牧市博物館
斜里町立知床博物館

館報 第8号、苫小牧博物館だより No. 60
知床博物館研究報告第 32、33 集、こんなに多様な知床の鳥たち、データブック知床・2010、知床の自然保護、発掘されたウトロ遺跡群

利尻町立博物館
財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

利尻研究（利尻町立博物館年報）第31号
千島・樺太・北海道 アイヌのくらし—ドイツコレクションを中心に—

青 森 県

青森県立郷土館
岩手県

青森県立郷土館報 平成23（2011）年度版（通巻38号）

一関市博物館
奥州市牛の博物館

一関市博物館研究報告 第14号、あかり
牛のはくぶつかん No.36～38、世界の牛貨展—財産からコインへ—、土に住む竜—モグラ—

北上市鬼の館
水沢鋳物工業協同組合

北上市立鬼の館だより第33、34号
南部鉄器のふるさと キュポラ・浪漫

宮 城 県

仙台市博物館
仙台市歴史民俗資料館

仏のかたち 人のすがた
年報2011、資料館だより No. 43、足元からみる民俗19 調査報告書第29集、河北画報 仙台市歴史民俗資料館 資料集第九冊、仙台 古地図の旅、昭和の仙台 街とくらし

東北大学大学院文学研究科美術史学講座
東北福祉大学芹沢銈介美術館

美術史学第31、32号
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館年報2 2010

秋 田 県

秋田県立博物館
福島県

秋田県立博物館年報、秋田県立博物館ニュースNo.152、153

福島県立博物館
郡山市教育委員会

博物館だより第100～103号
守山城跡と郡山の城館、大安場古墳と郡山の古墳時代、郡山市域の合戦と城！、山王林遺跡 第2次発掘調査報告書、郡山市埋蔵文化財分布調査報告17、18

大安場史跡公園
茨城県

大安場史跡公園年報—平成21年度版—、まるさんかくしかく 第10、11号、

小美玉市史料館
上高津貝塚ふるさと歴史の広場

小美玉市史料館 Vol.5
土浦市 上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第16号、ムラの風景 暮らしの足跡—霞ヶ浦周辺の古墳時代集落—

日立市郷土博物館

市民と博物館 95～98、写真集 写真でたどる日立百年のあゆみ—日立鉱山創業105年・日立製作所創業100年—

石岡市教育委員会

市内遺跡調査報告書 第6集、茨城県石岡市 新池台遺跡—特別養護老人ホーム建設に伴う発掘調査—

かすみがうら市教育委員会

かすみがうら市内遺跡発掘調査報告書、下土田宮後遺跡 発掘調査報告書、細内遺跡 発掘調査報告書

栃 木 県

小山市立博物館

博物館だより 53、武士の美意識小野塚イツ子記念館開館記念 第10回収蔵展 故小野イツ子氏遺贈品展、戦国の装い～伊澤昭二 甲冑コレクションの世界～、武士の美意識～変わり兜と変わり具足～

佐野市郷土博物館
栃木県教育委員会

絵葉書にみる佐野、小堀鞆音 没後80年展
栃木県立なす風土記の丘資料館年報 第19号、那須と白河—接圏の地— 東山道、そして関—

足利市教育委員会

史跡 樺崎寺跡（法界寺跡）発掘調査概要Ⅱ、八幡山古墳群、掘りだされた

足利の歴史—平成 21 年度 足利市埋蔵文化財発掘調査パンフレット—、足利市文化財調査報告 第 4 集 足利の石造物

群馬県

群馬県立歴史博物館

群馬県立歴史博物館紀要 第 32 号、洛中洛外図屏風に描かれた世界、親鸞と妙安寺—そして、知られざる上州の真宗門徒—

福地書店

福地書店 和本書画目録 春・夏季号、秋季号

埼玉県

埼玉県立川の博物館

かわはく No.39、41

さいたま市立博物館

さいたま市博物館研究紀要 第 10 集、受け継、がれた文化財～新指定 10 年分を大公開～、第 23 回企画展 縄文土器百選 in さいたま

川越市立博物館

博物館だより 第 63、64 号、川越城 —描かれた城絵図の世界—、名主奥貫友山と寛保 2 年の大水害

戸田市立郷土博物館

郷土博物館だより Vol. 39、イレモノいろいろ～うつわの今昔～

富士見市立水子貝塚資料館

縄文土器と動物装飾 2

ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館

資料館通信 第 64 号、信仰と旅

千葉県

国立歴史民俗博物館

和宮ゆかりの雛かざり、紅板締め—江戸から明治のランジェリー—、風景の記録—写真資料を考える—

千葉市立加曽利貝塚博物館

貝塚博物館紀要 第 38 号

鎌ヶ谷市郷土資料館

鎌ヶ谷郷土資料館年報 第 24 号、鎌ヶ谷郷土資料館だより 第 30 号、自治体鎌ヶ谷の歴史—村から町、町から市へ—

館山市立博物館

ミュージアム発見伝 No.85、平成 22 年度 特別展 安房の雨乞い かつこ舞

野田市郷土博物館

野田の煎餅～醤油の町の名物～

野田市郷土博物館・市民会館

野田市郷土博物館市民会館 年報・紀要 第 3 号

松戸市立博物館

松戸市立博物館年報 第 18 号—平成 22 年度 (2010)、まつどミュージアム No.20、松戸市立博物館紀要 第 18 号

鎌ヶ谷市教育委員会

鎌ヶ谷市史研究 第 24 号、鎌ヶ谷市史 別巻 2 (自然)

放送大学

放送大学教養学部 出願票提出書類セット 6 冊

東京都

東京都江戸東京博物館

江戸東京博物館 NEWS Vol. 73～76、東京都江戸東京博物館紀要 第 1 号、占領期カラスライド、勝海舟関係資料 海舟日記 (五)、調査報告書 第 24 集 両国地域の歴史と文化、龍馬伝すごい虫 131 大昆虫博公式ガイドブック、隅田川 江戸が愛した風景、徳川御三卿、江～姫たちの戦国～、140 年前の江戸城を撮った男 横山松三郎、チンギスハーンとモンゴルの至宝展、浄土寺秘蔵の仏画 五百羅漢 幕末の絵師狩野一信、世界遺産ヴェネツィア展、日光東照宮と將軍社参、平清盛、ザ・タワー 都市と塔のものがたり

大田区立郷土博物館

冬のぬくもり エコ暖房 湯たんぼ

品川区立品川歴史館

品川御台場—幕末期江戸湾防備の拠点—

世田谷区立郷土資料館

資料館だより No.55、世田谷叢書 第 5 集 宇津木家書簡集 (二)、等々力溪谷展—溪谷の形成をめぐって—

中野区立歴史民俗資料館

しいのき 第 61 号

府中市郷土の森博物館

あるむぜお 95～99、府中市郷土の森博物館紀要 第 25 号

東京家政学院 生活文化博物館

刺繍の世界—刺繍作家 板垣文恵先生 作品展—

東京家政大学博物館

東京家政大学博物館館報 No.55、56、東京家政大学博物館紀要 第 16 集

國學院大學学術資料館

考古学資料館紀要 第 28 集

國學院大學博物館学研究室

國學院大學博物館学紀要第 35、36 輯、國學院大學院友学芸員 No.4、5、高度博物館学教育プログラム 2010

國學院大學研究開発推進機構

まつりの継承

國學院大學伝統文化リサーチセンター

伝統文化のモノと心 第 5 号

国際仏教学大学院大学
成城大学民俗学研究所
日本大学文理学部資料館
早稲田大学大学院
早稲田大学考古学会
早稲田大学史学会
財団法人政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター
一般財団法人家具の博物館
財団法人国際仏教興隆協会
東京文化財研究所
財団法人日本博物館協会

公益財団法人伝統文化活性化国民協会
公益社団法人日本ユネスコ協会
石橋財団ブリヂストン美術館
株式会社平凡社
株式会社ネクサス
早稲田システム開発株式会社

株式会社文化環境研究所
株式会社JTBパブリッシング
株式会社日経BP社
株式会社吉川弘文館
有限会社沙羅書房
有限会社時代や書店
読書通信社
古書書遊会
歴史研究会
内閣府
個人

神奈川県

神奈川県立金沢文庫

横浜市歴史博物館

川崎市市民ミュージアム
平塚市博物館
神奈川大学日本常民文化研究所
神奈川大学国際常民文化研究機構

鎌倉文化研究会
財団法人馬事文化財団
財団法人馬事文化財団馬の博物館

新潟県

いとくら 第7号

民俗学研究所ニュースNo.92～95

開設5周年誌 館報 日本大学文理学部資料館の活動記録

文学研究科紀要第56輯 第1、2、3、4分冊

古代 第123～125号

史観 第164、165冊

東京大空襲・戦災資料センターニュースNo.19、20

家具の博物館だよりNo.60、61

国際セミナー「国際仏教徒結集」の紀要、国際仏教徒結集の紀要 2009年度

日本絵画史年記資料集成 十五世紀、研究資料 脱活乾漆像の技法

博物館研究 Vol.46 No.4～12、Vol.47 No.1～3、博物館倫理規程に関する調査
研究報告書、平成23年度 会員名簿

伝統文化 No.40、42、43

世界遺産 年報 2012 NO.17 特集 平泉

館報 59号 ANNUAL REPORT

別冊 太陽 長沢芦雪 ～千変万化のエンターテイナー～

目からウロコの骨董塾

ミュージアムの運営関連記事 PART25、ミュージアムの運営関連記事 社内研
修資料 VOL.39

Cultivate No.38 文化財の保存と再生

近江若狭の仏像

日経おとなのOFF 入門ニッポンの神様

日本歴史第761号、吉川弘文館の新刊 2011.1月～6月

沙羅書房古書目録 第82、83号

時代や書店目録 第145号

新本特価情報 2011年版

第61回 東西老舗 大古書市

歴史研究 第592、594号

平成24年度 内閣府青年国際交流事業 事業概要及び応募要領

私の江戸深川小論

描かれた寺社 中世の指図と明治の社寺明細帳図、金沢文庫研究第326、327
号

横浜市歴史博物館 NEWS 30、31、調査研究報告 VOL.6 2010、VOL.7 2011、
横浜市歴史博物館紀要 第15号、横浜市歴史博物館資料目録 第19集、古墳
時代の生活革命—5世紀後半・矢崎山遺跡—、大紙芝居展—よみがえる昭和
の街頭文化—、近世横浜 海岸部の新田開発、海にできた新田、都筑区茅ヶ
崎城跡と謎のウズマキかわらけ、大昔のムラを掘る—三殿台遺跡発掘 50年
—、寺社参詣・物見遊山 横浜・神奈川の名所

川崎市市民ミュージアム紀要 第23集

平塚市史10 通史編 近代・現代

名所図会を手にして東海道

神奈川大学国際常民文化研究機構 年報1 2009年度、年報2 2010年度、国
際シンポジウム報告書II “モノ”語り—民具・物質文化からみる人類文化—

鎌倉 111、112

平成22年度(2010)馬事文化財団年報 通刊第32号

特別展 神田日勝、ススメ!小田原北条氏

柏崎市立博物館 柏崎市立博物館 館報 第25号、トンボ日記「水辺の詩」～田中 博の世界～、
 蕁のちから・蕁のかたち 装う・運ぶ・包む・敷く・結ぶ・祈る
 十日町市博物館 縄文のKAZARI—顔を飾る縄文人—
 長岡市立中央図書館 長岡あーかいぶす 第11号、長岡市史双書 No.50 蔵王権現領安禅寺御用記(4)
 御用記(安永2年～天明8年)
 十日町市教育委員会 文化財課 年報13、野首遺跡発掘調査報告書I<遺構編>、国宝 笹山遺跡出土
 品のすべて、十日町市内遺跡試掘・確認調査報告書 平成22年度、中島遺跡
 発掘調査報告書

石 川 県

石川県立美術館 石川県立美術館だより 第330～341号
 石川県立歴史博物館 れきはくNo.99、102

富 山 県

富山市郷土博物館 平成21年度 富山市郷土博物館報、街道を歩く—近世富山町と北陸道—
 高岡市立博物館 博物館だより 第17号

福 井 県

福井県立歴史博物館 ふくいミュージアム No.42、43
 福井県立美術館 福井県立美術館年報 平成22年度
 福井県立恐竜博物館 福井県立恐竜博物館年報 第11号、福井県立恐竜博物館紀要 2011 Number
 10
 福井県立若狭歴史民俗資料館 館報 平成22年度、写された若狭—古写真の世界—
 敦賀市立博物館 研究紀要 第25号、古写真が語る敦賀
 福井県文書館 文書館だより 第13号

長 野 県

長野市立博物館 年報—平成19年度— VOL. 18、年報—平成20年度— VOL. 19、博物館だより
 第76～79号、紀要第7、11、12号、常設展示案内図録、長野市立博物館 収
 蔵資料目録、大岡の石仏、更級郡川合新田村 北村家文書 市川本太郎氏旧蔵
 資料(1)、市川本太郎氏旧蔵資料(2)、長野市立城山公民館(蔵春閣)移
 管資料購入資料(2)、峯村白斎関係資料、道が人をつなぐ—北国街道の400
 年—、長野市大岡地区周辺に伝わる人形送り行事 (DVD)、篠ノ井犬石地区・
 東横田地区 虫送り行事 (DVD)、信州新町竹房集落 百八灯行事 (DVD)、戸隠
 の山岳信仰 柱松神事 (DVD)

飯田市美術博物館 飯田市美術博物館 飯田市上郷考古博物館 年報 第20号、飯田市美術博物館
 ニューステラス Vol. 87、88、研究紀要 第21号、「南信」新聞美術記事年表
 (明治・大正編)、菱田春草 鑑賞ガイド、遠山霜月祭〈南信濃② 木沢地
 区編〉

茅野市美術館 茅野市美術館年報 2008-2009 研究紀要 第4号、MASAO OKABE 岡部昌生〈諏
 訪をめぐる、縄文にふれる〉

松本市立博物館 年報 2009、松本市立博物館ニュース あなたと博物館 No.174、175、177～179、
 石曾根コレクションの世界—95年の生涯を川柳に捧げて—、

岐 阜 県

岐阜県博物館 岐阜県博物館報 第34号、岐阜県博物館調査研究報告 第32号
 岐阜市歴史博物館 年報No.25、博物館だよりNo.77、信長関係文献目録
 各務原市歴史民俗資料館 資料館だより 第29号、旧中山道鶴沼宿本陣桜井家文書I
 みのかも文化の森 年報 Vol. 10、11、美濃加茂市民ミュージアム紀要 第10
 集、みのかも文化の森 活用の手引き活用実践集

内藤記念くすり博物館 くすり博物館だより Vol. 65、病まざるものなし～日本人を苦しめた感染症・
 病気 そして医家～

岐阜大学地域科学部 地域資料・情報センター 地域資料通信第3号

静 岡 県

- 静岡市立芹沢銈介美術館
浜松市博物館
富士市立博物館
沼津市歴史民俗資料館
焼津市歴史民俗資料館
焼津市教育委員会
愛 知 県
愛知県陶磁資料館
名古屋市博物館
安城市歴史博物館
瀬戸市美術館
知立市歴史民俗資料館
豊橋市二川宿本陣資料館
半田市立博物館
碧南市藤井達吉現代美術館
瀬戸蔵ミュージアム
熱田神宮宝物館
知立市教育委員会
徳川美術館
南山大学人類学博物館
名古屋大学大学院文学研究科美学美術史研究室
戦争と平和の資料館ピースあいち
社団法人 大正琴協会
尾張小牧歴史文化振興会
三 重 県
斎宮歴史博物館
桑名市博物館
鈴鹿市考古博物館
朝日町歴史博物館
皇學館大學佐川記念神道博物館
滋 賀 県
滋賀県立琵琶湖文化館
滋賀県立安土城考古博物館
- 芹沢銈介作品をめぐる 30 の物語
浜松市博物館報第 23 号、浜松市博物館だより Vol. 29-1~3、浜松市博物館情報第 229、231、238 号、赤門上古墳発掘 50 周年 銅鐸から銅鏡へ
平成 22 年度 館報、博物館だより 58、59 号、六所家総合調査だより第 9、10 号
沼津市歴史民俗資料館だより Vol. 36 No.2~4、沼津市歴史民俗資料館資料集 26、沼津市博物館紀要 35
焼津市歴史民俗資料館 年報 25
焼津市埋蔵文化財発掘調査報告書 20 宮之腰遺跡Ⅲ
館報 第 18 号
名古屋市博物館だより Vol. 197~200
年報 第 20 号 平成 22 年度、博物館ニュースNo.80~83、安城市歴史博物館研究紀要No.18、収藏品展 百年前の絵はがき、汽笛一聲・安城駅 120 年、戦時下にできた明治航空基地、村絵図Ⅱ—江戸時代の油ヶ淵と周辺の村々—、安城ゆかりの大名 藤井松平家
瀬戸市美術館、瀬戸市制施行 81 周年記念 瀬戸市美術館特別企画展 亀井勝陶芸展、国立美術館巡館展「日本の現代陶芸」—伝統と新風の精美—
知立市歴史民俗資料館 年報 平成 22 年度、度量衡〜はかる道具〜、自由民権運動の闘士 内藤魯一
二川宿史料集 第 4 集 二川宿本陣宿帳Ⅲ、三河・遠江の城郭展、歴史の道 姫街道展、棟方志功の東海道五十三次展、海の街道展—伊勢湾を渡る—、絵図から地図へ〜移り変わる豊橋の風景〜
半田市立博物館 年報 平成 22 年度、半田市立博物館だより 第 1、2 号
庄司達展 空間の航行、徳島県立近代美術館所蔵名品展 20 世紀の人間像 ルス呂宋とよばれたやきもの〜近世瀬戸の新たな試み〜
熱田神宮宝物館だより No.181~186、日本の神話〜近・現代絵画を中心に〜、神社のはじまり〜社寺縁起・由緒とゆかりの宝物〜
荒新切遺跡—平成 14~16 年度発掘調査報告書—
徳川美術館だより 葵第 78~81 号、徳川美術館ガイドブック
南山大学人類学博物館紀要 第 29、30 号、南山大学人類学博物館オープンリサーチセンター2010 年度次報告書、南山大学人類学博物館オープンリサーチセンター2010 年度次報告書 付編 研究会・シンポジウム資料
美学美術史研究論集第 25 号
ミューズ (平和のための博物館・市民ネットワーク通信) No.26、27
大正琴資料図録
尾張小牧歴史文化通信 第 5 号
斎宮歴史博物館だより No.66、67
桑名市博物館年報 平成 22 年度、没後十年記念特別企画展 小林研三
鈴鹿市考古博物館年報 第 11 号 (平成 20 年度版)、第 12 号 (平成 21 年度版)、特別展 土の中に眠っていたほとけさま、企画展 アンデスの彩り—古代南米土器の世界—、企画展 須恵器—自然釉の妙—、速報展 発掘された鈴鹿 2010
連歌と一揆—柿城の時代—
皇學館大學佐川記念神道博物館報 第 21 号
研究紀要第 27 号
平成 22 年度 年報、おおてみち 第 75~79 号、催し物案内、第 41 回企画展 近

滋賀県立近代美術館 滋賀県立琵琶湖博物館	江の観音像と西国三十三所巡礼、大岩山銅鐸から見えてくるもの、紀要 第19号、体感！夏休み発掘速報 2011、大国近江の壮麗な国府、武将が縫った神仏たち、昇る！昇れ！！昇るとき 日輪と龍のメッセージ、『人』・『自然』・『祈り』 共生の原点を探る 縄文人が語るもの 生誕百年特別展 白洲正子「神と仏、自然への祈り」 研究調査報告 26号 記録しておきたい滋賀県の地形・地質、研究調査報告 27号 滋賀県のチョウ類の分布、民具を科学する 明治の絵図と現代の実測図から見た近江の民具
滋賀県立陶芸の森 滋賀県平和祈念館 大津市歴史博物館	平成 22 年度 滋賀県立陶芸の森年報、REVIEW 2011 No.72 滋賀で学ぶ戦争の記録 研究紀要 17、大津百町大写真展 公式ガイドブック、地中からの贈りもの—遺跡が語る大津—、大津 国宝への旅、柴田晩葉—湖都のモダン日本画家—、車石—江戸時代の街道整備—、大津歴博だより No. 84、地中からの贈りもの—遺跡が語る大津—、神仏います近江博物館だより No.36
長浜城歴史博物館 長浜市曳山博物館 東近江市近江商人博物館 彦根城博物館	歌舞伎からみるお江戸の時代 近江商人のルーツ 小幡商人の活躍 彦根城博物館だより No.93～96、彦根城博物館年報 平成 22 年度、肥田の古墳・城・村—大地に刻まれた記憶—、武門の絆—徳川将軍家と井伊家—
伊吹山文化資料館 守山市ほたるの森資料館 野洲市歴史民俗博物館（銅鐸博物館） 愛荘町立愛知川図書館 愛荘町立愛知川びんてまりの館 滋賀県生涯学習推進本部	伊吹山文化資料館 年報 13—平成 22 年度の活動— 研究紀要 No.1 野洲市歴史民俗博物館 研究紀要 第 15 号 愛荘町立愛知川図書館・愛知川びんてまりの館の 10 年 2000-2010 愛荘太郎くんの見た昔のくらし～大正から昭和二十年（終戦）まで～ 滋賀の生涯学習社会づくり基本構想 つながりで未来を拓く～まなぶ いかす つながる～
滋賀県総合政策部	滋賀県文化振興基本方針～文化で滋賀を元気に！～、アール・ブリュットガイドブック 「美の滋賀」、滋賀県立近代美術館の今後のあり方（中間まとめ）、『近江の神と仏の「美」の発信に向けて』（中間まとめ）、アール・ブリュットの発信のあり方（中間まとめ）
滋賀県教育委員会	金剛寺遺跡・後川遺跡 近江八幡市西ノ庄町、滋賀県の民俗—湖北—、滋賀県の民俗—湖西—、滋賀県の民俗—湖南—
滋賀県教育委員会 生涯学習課	学びのメニューファイル ～滋賀の生涯学習情報誌～ 平成 23 年度 8～11 月号、学びのメニューファイル ～滋賀の生涯学習情報誌～ 平成 23 年度 12～平成 24 年・3 月号滋賀県総合政策部
大津市教育委員会	大津市埋蔵文化財調査年報—平成 21 年度—、滋賀里遺跡発掘調査報告書Ⅱ(50)、関津遺跡発掘調査報告書(51)、穴太遺跡（南菊ノ尾地区）発掘調査報告書(52)、南志賀遺跡発掘調査報告書Ⅲ(54)、穴太遺跡（南川原地区）発掘調査報告書(55)
草津市教育委員会	草津市文化財年報 18—平成 21（2009）年度事業年報—、常善寺須弥壇調査報告書 87 号
甲賀市教育委員会 高島市教育委員会 長浜市教育委員会	近江国水口藩加藤家分限帳、甲賀市史【第七巻】甲賀の城 高島市内遺跡調査報告書—平成 21～22 年度— 長浜市文化財保護年報 平成 22 年度、平成 22 年度 小規模開発関連発掘調査報告書、高月南遺跡 第 32 次調査報告書、井口遺跡 第 11 次調査報告書、十里町遺跡 第 32 次調査報告書
東 近 江 市 東近江市教育委員会	東近江市史 能登川の歴史 第一巻 僧坊町・湯屋町・平柳町・祇園町・小八木町・平松町・南清水町・共有文書目録

彦根市教育委員会	市史編さんだより 第 16 号、河原町・芹町 彦根市河原町芹町地区伝統的建造物群保存対策調査報告書
米原市教育委員会	米原市文化財ニュース佐加太 第 33、34 号
守山市教育委員会	立入荒牧遺跡発掘調査報告書 第 3 次発掘調査報告書
守山市公文書館	守山市誌資料古文書目録
野洲市教育委員会	野洲市遺跡発掘調査年報 平成 23 年度、平成 22 年度 野洲市埋蔵文化財調査概要報告書、野洲市埋蔵文化財調査概要報告書 2
栗 東 市	広報「りっとう」2010 年 4 月～2011 年 3 月
栗東市教育委員会	林遺跡発掘調査報告書 第 28 冊、小野遺跡発掘調査報告書 第 29 冊、下鈎遺跡発掘調査報告書 第 30 冊、中沢遺跡発掘調査報告書 第 31 冊、下鈎東遺跡発掘調査報告書 第 32 冊、高野・岩畑遺跡発掘調査報告書 第 33 冊、下鈎東遺跡発掘調査報告書 第 34 冊、手原遺跡発掘調査報告書 第 35 冊、霊仙寺遺跡発掘調査報告書 第 36 冊、岡遺跡発掘調査報告書 第 38 冊、小野遺跡発掘調査報告書 第 39 冊、2009 年度 年報 栗東市埋蔵文化財調査報告
甲良町教育委員会	甲良町古文書撰 上巻
観 峰 館	観峰館 紀要 第 7 号、銭慧安 収蔵品撰集 3
膳所焼美術館	膳所焼美術館だより 第 22 号
財団法人滋賀県文化財保護協会	紀要 設立 40 周年記念号、おうみ文化財通信おうみ文化財通信 Vol. 8、10、古代近江の渡来文化
財団法人滋賀県文化振興事業団	湖国と文化 135 号《特集》 滋賀の国宝建造物、湖国と文化 136 号《特集》 伊吹山の現在（いま）、湖国と文化 137 号《特集》 近江茶どころ、湖国と文化 138 号《特集》 滋賀は道の国、湖国と文化 139 号《特集》 近江八景、県美術展ニュース No.6、湖国文化情報 れいかる Vol. 62～68
滋賀県中学校教育研究会社会科部会	12 歳から学ぶ滋賀県の歴史 改訂版
財団法人滋賀県国際協会	国際教育研究会 開発教材〈第 4 弾〉何が起こった？（震災編）
財団法人滋賀県人権センター	わかりやすい研修のアイデア集 じんけんスクラム
社団法人滋賀県建設業協会	夢けんせつ 通巻第 618、621 号
公益財団法人秀明文化財団	秀明美術 第 18 号
滋賀県博物館協議会	しが 県博協だより 第 23 号
近江歴史回廊倶楽部	近江歴史回廊倶楽部 会報 第 13 巻 1～4 号
滋賀県立大学	学芸員課程報告書 第 13 号、人間文化 2011.1 Vol. 28、29
滋賀大学経済学部附属史料館	江戸時代の近江を旅する—湖東・湖北の名所を中心に—
成安造形大学	近江学フォーラム会報 近江通信紙 Vol. 05、07、成安造形大学紀要 第 2 号
サンライズ出版株式会社	図書目録 2011 年 下期、近江の祭りを歩く
株式会社ホンネット	ぶらり近江のみち
有限会社楽浪文化財修理所	文化財修理報告書 Vol. 10
しがぎん経済文化センター	club keibun Vol. 343～355
NP0 法人三方よし研究所	三方よし第 36 号
園 城 寺	三井寺 特集・古典を歩く Vol. 154～157
多 賀 大 社	多賀曼荼羅の世界
神仏います近江実行委員会	神仏います近江
京 都 府	
京都国立博物館	日本における木の造形的表現とその文化的背景に関する総合的考察〈考察編〉、日本における木の造形的表現とその文化的背景に関する総合的考察〈報告編〉、仏教美術研究上野記念財団助成研究会研究報告書 図録菟成 X II、京都国立博物館 學叢 第三十三号
京都府立丹後郷土資料館	美の風景—天橋立と名所絵屏風の世界—
京都府立山城郷土資料館	木津川ものがたり～木津川が生み、育てた文化～
京都市歴史資料館	京都市歴史資料館 第 23 号 紀要

京都市学校歴史博物館	博物館年報 平成 23 年度事業計画・平成 22 年度事業報告、京都市学校歴史博物館だより Vol.21
宇治市歴史資料館	宇治市歴史資料館 年報（平成 21 年度）、収蔵資料調査報告書 13 宇治市の写真資料 3、巨椋池—そして、干拓は行われた—
亀岡市文化資料館	第 49 回企画展図録 「川東・たんぼの下から郷土のお宝発見!」、丹波の祭礼と風流
五里ごり館（城陽市歴史民俗資料館）	五里ごり館通信 第 4 号 城陽を走った電車の話—奈良電から近鉄へ—、あの世・妖怪—闇にひそむものたち—、城陽を走った電車の話—奈良電から近鉄へ—
南丹市立文化博物館	南丹市文化博物館だより 第 7 号、写真でふるかえる南丹市、麻田辨自 スケッチブックの中から
大山崎町歴史資料館	大山崎歴史資料館館報 第 17 号、戦国の茶湯—利休と秀吉をささえた文化—
南丹市教育委員会	八木町史編さん事業歴史資料調査報告書第 4 集 近現代の八木の記憶
財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報 第 114～116 号
霊山歴史館	維新の道No.142～144
高麗美術館	高麗美術館館報 第 89、91 号、花卉草蟲—花と虫で綴る朝鮮美術展—
大谷大学博物館	親鸞 真宗本廟の歴史
華頂短期大学歴史文化学科	歴史文化研究 創刊号（通巻第 18 号）
京都市立芸術大学芸術資料館	京都市立芸術大学芸術資料館 年報 第 20 号 2010
京都大学総合博物館	京都大学総合博物館 年報 平成 22 年度
京都府立大学文学部歴史学科	八幡地域の古文書・石造物・景観—地域文化遺産の情報化—
同志社大学博物館学芸員課程	博物館年報第 42、43 号
同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館 館報 第 14 号、岩倉忠在地遺跡Ⅱ
花園大学史学会	花園史学 第 32 号
佛教大学宗教文化ミュージアム	黄檗版大蔵経展—その流布と改刻—、研究紀要 第 7 号 2010
佛教大学文学部鷹陵史学会	鷹陵史学 第 37 号
立命館大学国際平和ミュージアム	立命館大学国際平和ミュージアムだより Vol.19-1～3、立命館平和研究—立命館大学国際平和ミュージアム紀要—
立命館大学文学部	学芸員 NewsLetter 第 24 号
立命館大学防災 SRC 事務室	歴史都市を守る「文化遺産防災学」推進拠点 Newsletter No.17
龍谷大学 龍谷ミュージアム	積尊と親鸞 インドから日本への軌跡、積尊と親鸞 第 1 部・第 2 部 出品リスト、積尊と親鸞（親鸞編）
京都・大学ミュージアム連携実行委員会	京都大学ミュージアム連携 シンポジウム「いま、大学ミュージアムに求められるもの」
大学コンソーシアム京都	京都学生アートオークション報告書
浄土宗教学院	佛教文化研究 55 号 宗祖法然上人八百年大遠忌記念、佛教論業 第 55 号
知恩院浄土宗学研究所	八百年遠忌記念 法然上人研究論文集、浄土宗學研究 第 37 号
黄檗宗布教師会	黄檗宗大本山萬福寺 歴代持集
本願寺史料研究所	本願寺史料研究所報 41、42 号
一般社団法人国宝修理装演師連盟	装横史 2011、第 16 回 定期研修会報告集
京都美学美術史学研究会	京都美学美術史学 第 10 号
京都市勧業館みやこめっせ	2012 in kyoto 国際稀観本フェア
古材文化の会	古材文化 Vol.100 「日本庭園の見方と調査方法を学ぼう」
株式会社思文閣	和の美 457～464、和の史 思文閣古書資料目録 222～226、思文閣大交換会 入札目録、鴨東通信No.81～84、ようの美 其の 67 清水公照展
有限会社聚雲堂	古今書画もくろくNo.130～135
株式会社昭和堂	図書目録 2011、大学的 滋賀ガイド—こだわりの歩き方—
ギャラリー鉄斎堂	第 18 回 書画まつり—古画—、第 18 回 書画まつり—新画—
京都古書研究会	春の古書大即売会目録

古美術瀬戸
衆星堂
清興
平安堂書店
マキムラ書店
大阪府

国立民族学博物館
大阪府立狭山池博物館
大阪府立近つ飛鳥博物館

大阪市立美術館
大阪府立近つ飛鳥のミュージアム「大阪の今昔館」

大阪歴史博物館
大阪城天守閣
池田市立歴史民俗資料館
泉大津市立織編館

歴史館いずみさの
堺市博物館

吹田市立博物館
高槻市立今城塚古代歴史館

高槻市立しろあと歴史館
東大阪市立郷土博物館
八尾市立歴史民俗資料館
大阪狭山市役所
大阪狭山市教育委員会
貝塚市教育委員会
岸和田市教育委員会
高槻市教育委員会
島本町教育委員会
大阪大谷大学博物館
大阪商業大学商業史博物館

大阪商業大学比較地域研究所
関西大学博物館

大阪読売サービス株式会社
有限会社黒崎書店
中尾書店
阪急古書のまち協会

兵庫県

兵庫県立歴史博物館
兵庫県立美術館

近菟集品目録 第二号
衆星堂古書目録 辛卯黄鐘
清興 書画・古書籍販売合同目録 第八、九号
第24号 京都古書組合総合目録
歳末古書市 出品目録抄

みんぱく 11月号 特集 かんがえる足
大阪府立狭山池博物館研究報告 2011 7、古代狭山池と台地開発のはじまり
アスカディア・古墳の森 Vol. 34、35、大阪府立近つ飛鳥博物館 館報 14、
倭人と文字の出会い、百舌鳥・古市の陵墓古墳、歴史発掘おおさか 2011
大阪市立美術館だより 美をつくし Vol. 175～177

大阪くらしの今昔館 news Vol. 40～43、研究紀要・館報 9、開館 10 年記念誌
「大阪くらしの今昔館」ものがたり、
大阪歴史博物館研究紀要第 9 号、大阪歴史博物館年報平成 22 年度
大阪城代記録(五)、大阪城天守閣復興 80 周年記念特別展 天守閣復興 80th
没後 200 年 呉春展 「呉春」
おほつ研究 Vol. 8、泉大津の産業と文化—泉大津市立織編館ガイドスブ
ック—

歴史通信 いずみさの Vol. 23
堺市博物館報 第 30 号、百舌鳥古墳群—その出土品からさぐる—、陵墓古
写真集Ⅱ—古市古墳群・磯長谷古墳群・宇度墓・三嶋藍野陵—、堺市博物館
優品図録 第三集

すいはく博物館だより No.45～49、吹田市立博物館 館報 10、11
高槻市立今城塚古代歴史館 常設展示図録、三島と古代淀川水運 1—初期ヤ
マト王権から継体大王の登場まで—、発掘された高槻—平成 20・21・22 年
度発掘調査速報展—

郷土玩具 奥村寛純コレクション—伏見人形—
遺跡からみつける絵・記号・文字
八尾の至宝—八尾市指定文化財 20 周年記念—
大阪狭山市史 第 4 巻 史料編 近現代
大阪狭山市内遺跡群発掘調査概要報告書 21、東野中遺跡発掘調査概要報告書
『貝塚市の 70 年』編纂だより Weave Vol. 3、Weave ～紡ぐ～ Vol. 4
熊沢友雄日記(4) 明治十五(1882)年～明治十八(1885)年
永井神社伝来 永井直清関連資料調査報告書
島本町文化財調査報告書 第 17 集
博物館だより No.109、110

すいと 4 大阪商業大学商業史博物館 館報、大阪商業大学商業史博物館紀要
第 12 号

地域と社会 14 号
関西大学博物館蔵 本山コレクションの由来、関西大学博物館学課程創設 50
周年記念特集 阡陵、関西大学博物館蔵 本山彦一蒐集資料科目録、関西大
学博物館紀要 第 17 号、阡陵 No. 63

萬福寺開創 350 周年記念 隠元禪師と黄檗文化の魅力
黒崎書店古書目録
三十六周年記念 阪急古書のまち 善本古書目録
阪急古書のまち 平成 23 年 初夏

兵庫県立歴史博物館ニュース No.98～101、兵庫県立歴史博物館紀要 塵界
兵庫県立美術館年報 平成 21、22 年度、兵庫県立美術館研究紀要 No.4～6

- 兵庫県立考古博物館 兵庫県立考古博物館ニュース Vol. 6、7、兵庫県立考古博物館 NEWS Vol. 8、9、
ひょうごの遺跡 第79～82号
- 兵庫県立人と自然の博物館 ひとほく新聞 2010/9/30 保存版
- 神戸市立博物館 神戸市立博物館年報 No.26、研究紀要 第27号、館蔵品目録 考古・歴史の部
27 古文書X
- 神戸市立小磯記念美術館 美術館だより Vol. 35
- 明石市立文化博物館 明石市立文化博物館ニュースNo.64、くらしのうつりかわり展
- 小野市立好古館 好古館だよりNo.68～70、青野原収容所 俘虜がみた日本～新発見の俘虜撮影
写真から～、下東条歴史街道をゆく
- 西宮市立郷土資料館 西宮市立郷土資料館ニュース 第36号、西宮の講一つどいの民俗一、研究報
告 第九集
- 姫路市立美術館 美術館だより Vol. 110～113
- 姫路市書写の里・美術工芸館 姫路市書写の里・美術工芸館だより【五風十雨】Vol. 61～65
- 福崎町立神崎郡歴史民俗資料館 民俗学のふるさと福崎～幼き國男に刻まれた福崎文化～
- 尼崎教育委員会 尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成17年度、遺跡分布地図及び手引き、土器の
一生
- 神戸市埋蔵文化財センター 夏季企画展 神戸の地宝—センター20年の軌跡—
- 宝塚市教育委員会 市史研究紀要 たからづか 第25号
- 西宮市教育委員会 西宮の祭礼(1) 兵庫県西宮市のだんじり調査報告書
- 姫路市立城郭研究室 城郭研究室年報 Vol. 21
- 姫路市埋蔵文化財センター 姫路城城下町跡—姫路城跡 245次 南部中堀発掘調査報告書—
- 多可町教育委員会 極楽寺遺跡 北群、西安田・森ノ前遺跡 中安田・法幢寺遺跡、安坂・津ぶ
ら遺跡 安坂・門田遺跡Ⅱ、清水・寺山谷遺跡—県単独防災事業に伴う埋蔵
文化財発掘調査—
- 財団法人竹中大工道具館 竹中大工道具館 NEWS Vol. 25、26
- 神戸大学美術史研究会 美術史論集 第12号
- 奈良県**
- 奈良県立美術館 奈良県立美術館 年報 平成21年度、奈良県立美術館 紀要 第25号
- 奈良県立民俗博物館 奈良県立民俗博物館だより Vol. 37 No.1、大和郡山の祭りと行事
- 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 埴輪のはじまり～大和の特殊器台とその背景～、弥生の里～くらしといのり
～、大和を掘る 29 2011年度発掘調査速報展、仏教伝来、やまとの地宝—遺
物が語る奈良の歴史—、末永雅雄—末永考古学の軌跡—
- 香芝市二上山博物館 サヌカイト—元始の鉄—
- 葛城市歴史博物館 かづらき 8 —平成20・21年度—、新庄藩主 桑山一族の興隆 賤ヶ岳の合戦
から大坂の陣、先人からの言伝 樋口清之博士と竹内遺跡
- 大和文華館 季刊美のたよりNo.174～177
- 奈良市教育委員会 月ヶ瀬梅溪関係資料調査報告書
- 御所市教育委員会 吉祥草寺、史跡 京奈和自動車道関連遺跡発掘調査概報Ⅳ、平成23年度調
査の概要、櫛羅城跡—第1次発掘調査報告—、名柄遺跡 第6次 発掘調査報
告
- 帝塚山大学附属博物館 帝塚山大学附属博物館報Ⅵ、帝塚山大学考古学研究所研究報告ⅧⅢ、帝塚山
大学考古学研究所研究報告ⅧⅢ
- 帝塚山大学大学院人文科学研究科 人文科学研究科紀要 第13号
- 奈良文化財研究所 星々と日月の考古学、奈良文化財研究所 紀要 2011、奈良文化財研究所概要
2011
- 奈良文化財研究所飛鳥資料館 鑄造技術の考古学 東アジアにひろがる鑄物師のわざ、飛鳥遺珍—のこされ
た至宝たち—、飛鳥の考古学 2011
- 財団法人元興寺文化財研究所 大和文化財保存会援助事業による金剛山寺の版木、元興寺文化財研究所・研

究報告 2009・2010、萩之本遺跡—平成 21 年度発掘調査報告書—、元興寺之七不思議、国宝 元興寺禅室、元興寺禅室 屋根裏探索

クテ打組紐技法研究所

クテ打組紐技法入門 続編 4 段階手順

和歌山県

和歌山県立博物館

博物館だより vol. 16、17、中世の村をあるく—紀美野町の歴史と文化—、華麗なる紀州の装い—かみ・ひと・ほとけをつなぐ—、研究紀要 第十七号
和歌山市立博物館館報 No. 26、川端龍子と和歌山—120 年の絆—、祇園南海とその時代、和歌山市博物館研究紀要 26 号

和歌山市立博物館

岡山県

岡山県立博物館

岡山県立博物館だより 76 号、研究報告 32、法然上人と岡山、出雲と吉備—玉・銀・神楽—

岡山県立美術館

岡山県立美術館ニュースNo.92～95

岡山市立オリエント美術館

岡山市立オリエント美術館研究紀要 25

広島県

広島県立歴史博物館

広島県立歴史博物館ニュース第 87、88、90 号

広島県立歴史民俗資料館

年報 第 30 号—平成 22 年度—、研究紀要 第 8 集

日本はきもの・郷土玩具博物館

日本はきもの博物館・日本郷土玩具博物館 2010 年度年報

鳥取県

鳥取市歴史博物館

文化財団ニュースレター第 2 号、庭先にひろがる中世～因幡国荘園の世界～

島根県

島根県立古代出雲歴史博物館

島根県立古代出雲歴史博物館 NEWS Vol. 19、21、特別展 観音巡礼 中国路の古寺と仏像、神々のすがた 古代から水木しげるまで

荒神谷博物館

2006 年特別展—青銅器の谷に国宝銅鐸が集う—荒神谷銅鐸のなかまたち、2007 年特別展 祀戦 荒神谷銅剣、2009 年度特別展 もう一つの青銅器世界—変わる銅鐸への想い—、平成 22 年度特別展 銅鐸の中の動物たち、黄泉の国を探る～洞窟遺跡から見えるもの～

山口県

山口県立美術館

山口県立美術館ニュース 天花 115、116

下関市立考古博物館

下関市立考古博物館年報 16、研究紀要 第 15 号、弥生時代の拠点集落 その構造と機能

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

浜出祭調査報告書—I（資料編）

徳島県

徳島市立徳島城博物館

徳島市立徳島城博物館年報 第 18 号（平成 21 年度）、ひな人形の世界、冬の企画展 館蔵浮世絵展、春の企画展 阿波の食べ物事情、阿波の鉄砲～鉄砲からみた阿波史～、阿波の海運～廻船問屋山西家と金丸山仙龍寺～、阿波の茶の湯

香川県

香川県立ミュージアム

香川県立ミュージアム年報 第 2 号、香川県立ミュージアム NEWS Vol. 13～16、収蔵資料目録 2、3、ミュージアム調査研究報告 第 2、3 号、ふるさとの海のものごたりに 見つけよう！瀬戸内海の魅力、徳川四天王 井伊家の至宝展—関ヶ原から幕末まで、武と風雅の歴史絵巻—、屋島焼—型に生きる— Vol. 18、近代日本絵画のあけぼの—風薫る讃岐の美とともに— Vol. 19、近世の瀬戸内海を往来した人と船 Vol. 20（瀬戸内海歴史民俗資料館コレクション展Ⅲ）、静かなる調べ—香川ゆかりの院展作家たち— Vol. 22 美術コレクション展Ⅲ、仏の美—仏教美術コレクションから— Vol. 23、松平家名品展 吉祥—めでたさの表現— Vol. 24、瀬戸内海をめぐるテグス船—鳴門一本釣の道具と技をのせて— Vol. 25、昭和のくらし—道具が語る知恵と工夫— Vol. 26、瀬戸内の神仏とまじない道具—「大漁エビス」から「イワシの頭」まで— Vol. 28、物語の誕生—絵巻を読む— Vol. 29、展示会ポスターにみる

アートの世界—ピカソからウォーホルまで— Vol. 30、茶の湯の美—茶道具にみる伝統と創造— Vol. 31、満濃池のあゆみ—絵図・文書でみる日本最大のため池— Vol. 32、和船を造る—国指定「瀬戸内海の船図及び船大工用具」の世界— Vol. 33、日本画 四季折—の風景—花、草木の彩り— Vol. 34、葵—徳川—門の象徴、そのかたちと使い方— Vol. 35、発掘された日本列島 2010 & 香川の発掘最前線、高松松平家博物図譜 写生画帖 菜蔬

愛媛県

愛媛県歴史文化博物館

愛媛県歴史文化博物館だより No.65～68、研究紀要第 16 号、愛媛県出土木製品（弥生・古墳時代）、邪馬台国時代の伊予・四国

松山市教育委員会・埋蔵文化センター

松山市埋蔵文化財調査年報 22、久米窪田古屋敷遺跡 第 148 集、樽味立添遺跡 4 次調査・樽味高木遺跡 15 次調査 第 152 集

財団法人松山市埋蔵文化財センター

東本遺跡—9 次・10 次調査—・小坂遺跡—1 次～6 次調査—・中村松田遺跡—5 次・6 次調査—2011 本文編、東本遺跡—9 次・10 次調査—・小坂遺跡—1 次～6 次調査—・中村松田遺跡—5 次・6 次調査—2011 図版編

高知県

高知県立歴史民俗資料館

高知県立歴史民俗資料館だより 岡豊風日 第 75、76 号、高知県立歴史民俗資料館年報 平成 21 年度 No.19、平成 22 年度 No.20

福岡県

九州国立博物館

九州国立博物館季利情報誌 AsIage Vol. 21～23、黄檗—京都宇治・萬福寺の名宝と禅の新風—

福岡市博物館

福岡市博物館年報 17、18、FACATA 84, 85、福岡市博物館研究紀要第 20、21 号、2007 年度収蔵品目録、2008 年度収蔵品目録

北九州市立自然史・歴史博物館

研究報告 B 類歴史 第 8 号、禅寺広寿山の名宝

福岡市教育委員会

平成 21 年度 福岡市埋蔵文化財センター年報 第 29 号

大分県

大分県立歴史博物館

念仏の歴史と文化、瑠璃浄土—薬師如来へのいのり—、豊後国香郷 2 国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査概報、豊後国山香郷 3 国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査概報、川部・高森古墳群発掘調査報告書、収蔵品目録 美術・工芸 1、収蔵品目録 歴史 1、収蔵品目録 歴史 2

大分市歴史資料館

大分市歴史資料館ニュース No.89 地図と写真でたどる大分の近代史、大分市歴史資料館ニュース No.90 大友館 最前線！、大分市歴史資料館ニュース No.91 お神楽の世界、大分市歴史資料館ニュース No.92 どこがちがうの？ものの形から歴史を探る、大分市歴史資料館ニュース No.93 古地図が伝える大分の歴史、大分市歴史資料館ニュース No.94 日本歴史遺産 大分市の国指定史跡、大分市歴史資料館ニュース No.95 豊後南蛮交流史、大分市歴史資料館ニュース No.96 昭和・平成の遊び～懐かしのおもちゃとヒーロー～、偉人たちの風貌—おおいの肖像—

宇佐市教育委員会

市内遺跡発掘調査概報 19 平成 22 年度調査の概要、市内遺跡発掘調査事業報告書 第 6 集 法鏡寺遺跡

熊本県

八代市立博物館未来の森ミュージアム

大妙見祭展～華ひらく祭礼風流～

玉名市教育委員会

吉丸前遺跡 第 16 集（一般国道 208 号玉名バイパス建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査）、両迫間日渡遺跡 第 19 集（九州新幹線新玉名駅周辺整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査）、柳町遺跡（一般国道 208 号玉名バイパス改築事業に伴う埋蔵文化財調査）

沖縄県

財団法人海洋博覧会記念公園管理財団

南ぬ風夏号 Vol. 19～22

その他

韓国国際交流財団

日本語版 Koreana 韓国の芸術および文化 Vol. 18 No.1～4

(2)資料の保管

(i)収蔵環境管理

博物館収蔵資料の保存に万全を期し、資料の活用を通じて社会に貢献するという博物館に課せられた基本的な使命を果たしていくためには、博物館施設・設備を良好に維持管理していくことが必要である。とりわけ、様々な博物館事業を進めていくための根幹となる資料の収蔵環境の維持に関しては、下記のような項目を実施した。

なお、平成 21 年度から実施された栗東市財政再構築プログラムの一環として、歴史民俗博物館では、従来は機械制御で行なってきた空調機の運転を、学芸員の監視のもとでの手動運転へと切り替えている。日常管理：展示室・機械室等の巡回点検・監視記録・報告。館内清掃（委託）。旧中島家住宅管理業務（委託）

月次管理：自記式温室度計の記録紙交換。収蔵庫、展示室を含む館内巡視。

季節管理：空調機の夏冬設定切り替え（春秋）、中央監視盤スケジュール設定変更（年頭）。

資料受け入れや収蔵にかかる管理：清掃と点検を行い、必要に応じて燻蒸等の処置を行う。

(ii)生物被害対策

博物館設備のメンテナンスや、加害生物についてのモニタリング調査、IPM 研修、博物館収蔵資料の燻蒸を行うことにより、収蔵品や展示物を適切な環境下に置き、安全に保管していくことに努めた。

(3)資料の活用

(i)資料貸出

資料名	員数	期間	貸出目的	貸出先
足利義満御判御教書（『永源寺文書』函 232-11）	1 通	H23. 4	平成 23 年度展覧会「庭先に広がる中世～因幡国荘園の世界～」への出陳	鳥取市歴史博物館
足利義政御判御教書（『永源寺文書』函 232-12）	1 通	）		
瑞石歴代雑記（『永源寺文書』No.8459～8461） （いずれも永源寺所蔵）	3 冊	H23. 5		
横井金谷書状（宋栄寺所蔵）	1 通	H23. 4 ） H23. 6	春季テーマ展横井金谷生誕 250 年「横井金谷一近江蕪村と呼ばれた放浪の画僧一」への出陳	草津市立草津宿街道交流館
新開 4 号墳 船形埴輪	1 点	H23. 7 ） H23. 8	平成 23 年度特別展「黄泉の国を探る～洞窟遺跡から見えるもの～」への出陳	荒神谷博物館
木造千手観音立像（善勝寺所蔵）	1 軀	H23. 9 ） H23. 12	特別展「神仏います近江」のうち「天台仏教への道」（信楽会場：MIHO MUSEUM）への出陳	「神仏います近江展」実行委員会
後法興院記（複製、現品：陽明文庫所蔵）	1 冊	H23. 9 ） H23. 10	NHK 歴史番組での撮影	NHK 制作局
さおばかり	2 台	H23. 9	小学 6 年生の理科での「てこ」の学習	栗東市立葉山小学校
木造僧形神坐像（椿神社所蔵）	1 軀	H23. 10 ） H23. 11	特別展「神仏います近江」のうち「日吉の神と祭」（大津会場：大津市歴史博物館）への出陳	「神仏います近江展」実行委員会
木造男神・女神像（大宝神社所蔵）	10 軀			
木造男神坐像（小槻大社所蔵）	2 軀			
木造宮殿（小槻大社所蔵）	1 基			
木造僧形神坐像	2 軀			
新開 4 号墳 船形埴輪、円筒埴輪、家型埴輪	7 点	H23. 10 ） H23. 11	秋季企画展「近江の古墳と大岩山古墳群」への出陳	野洲市歴史民俗博物館（銅鐸博物館）
千人針	1 点	H23. 10	「戦争を語り継ぐ会」会合での使用	個人 （寄贈者本人）
洗濯だらい、板	2 組	H23. 10	小学 3 年生の学習	栗東市立葉山小学校
平和のいしづえ写真パネル	30 枚	H23. 10	葉山東小学校 6 年生「戦争について考えよう」教材としての使用	コミュニティセンター 一葉山東

着物 ゲタ 洗濯だらい、板	3着 2足 2組	H23.11	小学3年生の学習発表会（昔のくらしにタイムスリップ）での使用	栗東市立金勝小学校
「国語 第六学年 下」 「小学生のさんすう 二年 上」 「小学生のさんすう 三年 下」	1冊 1冊 1冊	H23.11 ） H23.12	総合的な学習の時間での使用	栗東市立金勝小学校
山入 オコナイ（複製） 老杉神社 蛇縄 山入オコナイ「生御前のしつらえ」写真 老杉神社「拝殿に奉納されたジャナワ」写真 老杉神社「鳥居に巻き付けられたジャナワ」写真	一式 一式 1枚 1枚 1枚	H23.12 ） H24.1	平成23年度特別陳列「昇る!昇れ!!昇るときー」	

(ii) 特別利用(閲覧・撮影・原板使用等)

資料名	年月	利用目的	利用区分	利用者
地藏菩薩坐像（金勝寺所蔵） 馬頭観音坐像（長浜市西浅井町山門自治会所蔵） 大津晩興図（横井金谷筆）（個人蔵） 目川田楽と菜飯（復元、栗東市岡自治会所蔵） 服部末石亭の収集品（個人蔵） 多羅尾村の被害状況を視察する服部岩吉知事 以上、写真6点	H23.4	『12歳から学ぶ滋賀県の歴史 改訂版』への掲載	原板使用、転載	サンライズ出版株式会社
新開西古墳3号墳長胴棺	H23.4	研究のため	熟覧、撮影	個人
「平和のいしずえ」展使用写真アルバム （1993年、1998年、2001年） 八日市飛行場第三連隊除隊記念写真	H23.4	滋賀県平和祈念館（仮称） 開館準備調査、栗東地区古 写真調査	熟覧	滋賀県平和祈念館 （仮称）開設準備 室 嘱託学芸員
黄檗宗東林派第二祖 梅嶺道雪禅師像 （福正寺所蔵）写真	H23.4	『黄檗山歴代住持集』への 掲載	原板使用	黄檗宗布教師会
「八日市飛行第三連隊 除隊記念写真（S3.11）」 「93 平和のいしずえ展」 「平和のいしずえ展 98」 「平和のいしずえ 2001」 「平和のいしずえ展 堀池」 「平和のいしずえ展 大宝村「史蹟」、 水野留治郎他」 「平和のいしずえ 使用写真・パンフレット」 以上、写真アルバム7冊	H23.4	滋賀県平和祈念館（仮称） の開館準備のための調査研 究	写真アルバムの 借用	滋賀県健康福祉部 健康福祉政策課長 （滋賀県平和祈念 館（仮称）開館準 備室）
国防婦人会大宝村分会による射撃訓練 写真	H23.4	『大学的滋賀ガイドーこだ わりの歩き方』への掲載	原板使用	株式会社昭和堂
日光例幣使行列図（里内文庫No.330-4） 写真	H23.4	伝統的建造物群保存地区啓 発パンフレットへの掲載	原板使用	栃木市教育委員会 伝建推進室
山中東江筆「生類写真」 写真	H23.4	テレビ番組「目からウロコ の骨董塾」での紹介	原板使用	株式会社ネクサス
昭和22年アメリカ軍撮影航空写真	H23.6	郷土史の確認	熟覧	個人
天竺晨旦浄土高僧連座像（浄土十祖図） （浄厳院所蔵） 木造阿弥陀如来立像（浄光寺所蔵） 木造阿弥陀如来立像（真教寺所蔵） 以上、写真3点	H23.6	龍谷ミュージアムの開催す る「釈尊と親鸞」展にかか る刊行物への掲載	原板使用	龍谷大学 龍谷ミ ュージアム
鉄灯籠（大鳥神社所蔵）	H23.7	番組制作に関わる取材	熟覧、撮影	株式会社ネクサス
歌入近江八景図会（里内文庫No.391I-30） 淡海名寄（里内文庫No.226-1） 近江ノ寺子屋私塾史料（里内文庫No.143-7） 中川泉三先生稿 近江八景論（里内文庫No.48-6） 世話千字文 近江八景詩歌（里内文庫No.396I-12） 寺子屋私塾 江戸時代庶民教育資料 其二 （里内文庫No.143-19） 寺子屋私塾資料（里内文庫No.10-27） 長雄近江八景（里内文庫No.396I-16）	H23.8	近江八景詩歌の江戸時代 における流布についての研究	熟覧、撮影	個人
諸国出職明細鑑（太田家旧蔵文書）	H23.8	『伊賀市史』第5巻 資料編	翻刻の掲載	伊賀市長

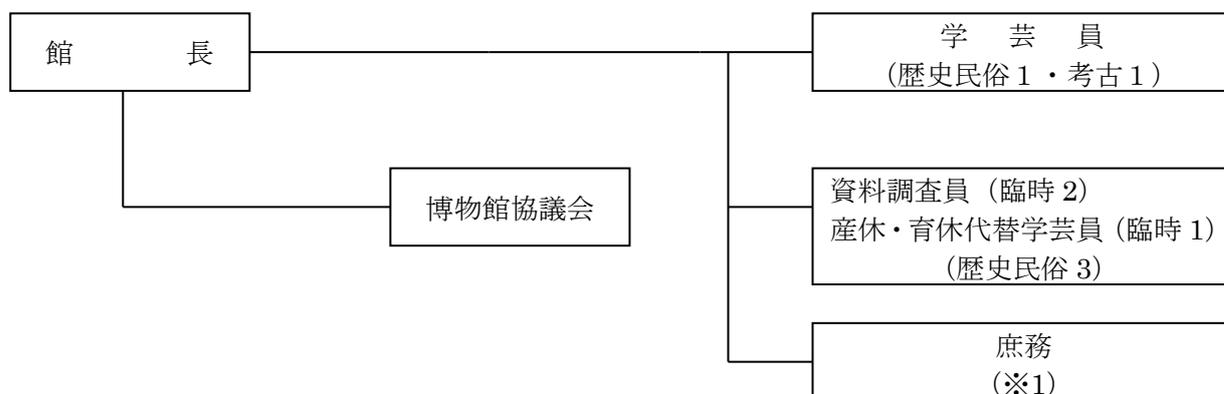
		近世への掲載		(総務課市史編さん係)
山の神神事レプリカ	H23. 8	祭祀学研究資料として	撮影	個人 (祭祀学研究会代表、日本オリエント学会会員)
地藏菩薩坐像(金勝寺所蔵) 良弁僧正坐像(金勝寺所蔵) 願安坐像(金勝寺所蔵) 以上、写真3点	H23. 8	金勝寺絵はがきの作成	原板使用	株式会社スマイ印刷
紙本墨書瑞石山事蹟(永源寺所蔵) (『永源寺文書』No.8407)	H23. 9	平成23年度秋季企画展「近江商名のルーツ 小幡商人の活躍」での写真展示、および図録への掲載	熟覧、撮影	東近江市近江商名博物館
鈎里陣図(里内文庫No.359-187) 後法興院記(複製、現品:陽明文庫所蔵)	H23. 9	テレビ番組「ラストニンジャ」撮影のため	撮影	個人 (NHK制作局)
里内家并里内文庫雑記録(里内文庫No.384-H9) ほか、里内文庫資料計33点	H23. 9	調査・研究	熟覧、撮影	個人
梵鐘(野洲市安楽寺寄贈資料) 写真	H23. 9	企画展「鉱山の記憶」での写真展示	原板使用	秋田県立博物館
虚空蔵菩薩半跏像(金勝寺所蔵) 二月堂の軍荼利明王立像(金勝寺所蔵) 良弁僧正坐像(金勝寺所蔵) 願安坐像(金勝寺所蔵) 興福寺別院金勝寺図略(金勝寺所蔵) 金勝寺四至絵図(金勝寺所蔵) 以上、写真6点	H23. 9	滋賀県栗東市遺跡めぐりマップVOL②「金勝寺」作成	原板使用	財団法人栗東市文化体育振興事業団
木内石亭像(個人蔵) 雲根志(個人蔵) 奇石会品目(個人蔵) 曲玉問答(個人蔵) 西遊寺鳳嶺収集奇石集(個人蔵) 木内石亭奇石買入覚(個人蔵)	H23. 9	「おうみ発 610」番組制作	熟覧、撮影	個人 (NHK 大津放送局放送部 キャスター)
待宵侍従優美蔵人 源平布引滝 (里内文庫No.225-52) 待宵侍従優美蔵人 源平布引滝 (里内文庫No.225-54)	H23. 10	浄瑠璃本書誌調査	熟覧、撮影	個人 (早稲田大学高等研究所 招聘研究員、早稲田大学演劇博物館 招聘研究員)
大字下戸山水路図(地籍図No.53) 大字下戸山小字別地図(地籍図No.86) 栗東町地図(安養寺・上砥山)(地籍図No.115)	H23. 10	道路計画にともなう土地調査	熟覧、撮影	滋賀県南部土木事務所
フイゴ	H23. 10	年代測定	撮影	個人
疱瘡人形 塩川文麟芦岸漁夫図屏風(個人蔵) 真崎文庫資料(個人蔵)	H23. 10	『近江八幡の歴史』第5巻への掲載	熟覧、撮影・原板使用	近江八幡市総合政策部文化振興課市史編纂室
大字坊袋路線略図(地籍図No.59) 大字坊袋小字別地図(地籍図No.79)	H23. 11	水路の確認	熟覧、撮影	栗東市道路・河川課
隠元騎獅像(喜多長兵衛筆、自賛)(正瑞寺所蔵) 照山元瑤像(照山元瑤筆)(正明寺所蔵) 鷹図(正明寺所蔵) 以上、写真3点	H23. 11	「萬福寺開創350周年記念 隠元禪師と黄檗文化の魅力展」図録への掲載	原板使用	大阪読売サービス株式会社
木造千手観音立像(善勝寺所蔵) 写真	H23. 11	楽学ブックス『近江・若狭の観世音菩薩をめぐる』(仮)への掲載	原板使用	株式会社エディット
城江銘茶製所鑑(里内文庫No.360-57)	H23. 11	ギャラリー展示「民具を科学する」でのパネル展示	原板使用	滋賀県立琵琶湖博物館
木造四天王立像(大聖勝軍寺所蔵) 写真	H23. 12	調査研究	熟覧、撮影	個人 (西蓮寺住職)

西明寺祠堂米手形（永源寺所蔵） （『永源寺文書』末寺/17 蒲生郡 No.1） ほか、『永源寺文書』資料計 43 点	H23. 12	『近江日野の歴史』編さん にかかると基礎史料収集	熟覧、撮影	日野町教育委員会 町史編さん室
梅嶺道雪像（福寿寺所蔵） 写真	H23. 12	『近江八幡の歴史』第 5 巻 —商人と商い—への掲載	原板使用	近江八幡市長 （総合政策部文化 振興課市史編纂 室）
一柳米来留氏（里内文庫No.55-54）	H24. 1	『吾家の設備』（ウィリア ム・メレル・ヴォーリズ著） の復刻本の編者解題への掲 載	翻刻の掲載	個人
木造女神坐像（金勝寺所蔵） 写真	H24. 1	『日経おとなの OFF』3 月号 への掲載	原板使用	株式会社日経 BP
「勤労奉仕でグリーンピース収穫」 「疎開児童たち 治田村 専光寺」 「近江神宮参拝」 以上、写真 3 点	H24. 1	滋賀県平和祈念館事業にお ける研究調査、展示、学習 用小冊子等刊行物への掲 載、および展示や刊行物の web ページでの紹介、公開	原板使用	滋賀県健康福祉部 健康福祉政策課長 （滋賀県平和祈念 館（仮称）開館準 備室）
「勤労奉仕でグリーンピース収穫」 「八日市飛行場・江州側より鈴鹿を望む」 以上、写真 2 点	H24. 1	滋賀県平和祈念館事業にお ける展示、図録等刊行物へ の掲載、および展示や刊行 物の web ページでの紹介、 公開	原板使用	滋賀県健康福祉部 健康福祉政策課長 （滋賀県平和祈念 館（仮称）開館準 備室）
鈎里陣図（里内文庫No.359-187）	H24. 1	『ラストニンジャ 古文書 発掘ミステリー』の NHK オ ンデマンド「特選ライブラ リー」での配信	インターネッ ト上での番組 配信	日本放送協会（事 務代行）株式会社 NHK エンタープラ イズ
辻遺跡 韓式系土器 霊仙寺遺跡 弥生土器（壺・甕・蓋） 新開 4 号墳 船形埴輪 以上、写真 3 点	H24. 1	『シリーズ近江の文化財 005—近江の渡来文化（仮） —』への掲載	複写、掲載	財団法人滋賀県文 化財保護協会
琵琶湖近傍大絵図（里内文庫No.355-1）	H24. 1	『近江八幡の歴史』第 5 巻 —商人と商い—への掲載	原板使用	近江八幡市長 （総合政策部文化 振興課市史編纂 室）
伊庭貞隆書下（明応 4 年 12 月 21 日） （永源寺所蔵、『永源寺文書』函 222-18）	H24. 2	『東近江市史 能登川の歴 史』第 4 巻 資料・民俗編へ の掲載	掲載（既に撮影 済みの写真を 使用）	東近江市史編纂室
民俗資料の資料データベース	H24. 2	民具の名称およびデータベ ースに関する研究	熟覧	個人 （武蔵野美術大学 教員）
道標（安政 7 年） 近江国栗太郡村誌	H24. 2	研究	熟覧、撮影	個人
木造日野富子坐像（宝鏡寺所蔵） 葛川明王院参籠札（延暦寺管理） 紙本著色宋栄尼像（宋栄寺所蔵） 絹本著色山岡景以像（宋栄寺所蔵） 紙本著色山岡景隆像（個人蔵） 以上、写真 5 点	H24. 2	大河ドラマ「江～姫たちの 戦国～」滋賀県推進協議会 のホームページ「江のふる さと近江」内に掲載した「特 集 近江の姫たち」の「日 野富子、宋栄尼」に使用し た画像を、パンフレット「近 江の姫たち」に掲載	掲載	滋賀県観光交流局 内 大河ドラマ「江 ～姫たちの戦国 ～」滋賀県推進協 議会
富士山記（岸派資料目録No.54）	H24. 2	研究	熟覧、撮影	個人
脇差銘一峰 写真	H24. 2	『改訂増補 刀工総覧 第 33 刷』への掲載	原板使用	株式会社宮帯出版 社
大字下戸山小字別地図（地籍図No.86）	H24. 3	筆界特定申請手続の処理	撮影	天津地方務局
大隅孝治氏寄贈資料	H24. 3	郷土史の執筆	熟覧、模写、撮 影	個人
紙本著色山岡景隆像（個人蔵） 写真	H24. 3	株式会社デアゴスティー	原板使用	株式会社十象舎

		ニ・ジャパン発行『週刊 戦国武将データファイル』第103号への掲載		
旧中島家住宅かまど製作時の写真	H24.3	研究	撮影	個人
旧中島家住宅 かまど、臼、杵、割木	H24.3	かまど蒸しによるもちつき	旧中島家住宅の使用	栗東ふあざ〜ず倶楽部
荒張村全図（地籍図目録No.31）	H24.3	官民境界調査	熟覧、撮影	栗東市土木管理課
二十九年九月 亀田氏史料売払方 （里内文庫No.66-52） ほか、里内文庫資料計45点	H24.3	卒業論文作成のため	熟覧、撮影	個人
旧中島家住宅 外観、平面図の写真 （栗東歴史民俗博物館ホームページに掲載しているもの）	H24.3	東京都教育庁が都立学校向けに無償で発行する電子教材（学習コンテンツ）での紹介	転載	アデコ株式会社

5.組織と管理運営

(1) 組織



(※1) 非常勤職員 2 名

(2) 職員

名誉館長	宇野 茂樹
博物館資料取扱指導員	佐々木 進
館長	加藤 宏之
学芸員	大西 稔子
学芸員	中川 敦之
学芸員	雨森 智美
産休・育休代替学芸員(臨時)	小野 翠
資料調査員(臨時)	櫻井 信也
資料調査員(臨時)	隅川 明宏
事務補助(臨時)	奥田 安枝
事務補助(臨時)	赤尾 和美

(3) 職員の活動

加藤 宏之

〔職務分掌〕

栗東歴史民俗博物館業務の統括

大西 稔子

〔職務分掌〕

育児休業取得

中川 敦之

〔職務分掌〕

学芸業務（関係機関との連携事業の推進、栗東歴史民俗博物館ホームページの運用 など）

博物館の一般事務

〔執筆〕

「りっとう再発見」No.73「栗東の製菓業」（『広報りっとう』4月号）

平成23年4月

「りっとう再発見」No.78「栗東の誕生」（『広報りっとう』10月号）

平成23年10月

「地域博物館の活動報告(特集 地域と博物館）」（『博物館研究』46(10)）

平成23年11月

「博物館教室「昔の暮らし」と市民学芸員の参画」(『博物館学年報』43) 平成24年3月
「《研究ノート》大宝神社の神仏分離」(『栗東歴史民俗博物館紀要』第18号) 平成24年3月
〔館外活動〕
草津市山寺町文化講座 講師 平成24年1月

雨森 智美

〔職務分掌〕

学芸業務(旧中島家住宅の啓発普及、栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会の活動支援 など)
博物館の一般事務

〔執筆〕

「りっとう再発見」No.80「木内石亭と里内文庫」(『広報りっとう』1月号) 平成24年1月
「《資料紹介》鈎の陣をめぐる遺跡調査の現状」(『栗東歴史民俗博物館紀要』第18号) 平成24年3月

奥田 安枝

〔職務分掌〕

博物館の一般事務(予算の管理、博物館の施設設備及び備品の維持管理 など)

小野 翠

〔職務分掌〕

学芸業務(旧中島家住宅の啓発普及、博物館教室「昔の暮らし」の開催 など)

〔執筆〕

「りっとう再発見」No.76「栗東の名物一目川田楽と菜飯」(『広報りっとう』7月号) 平成23年7月
「《研究ノート》栗東における日清戦争期の軍事郵便一里内文庫蔵『葉山忠士ノ遺芳』にみる一」
(『栗東歴史民俗博物館紀要』第18号) 平成24年3月

櫻井 信也

〔職務分掌〕

学芸業務(古文書研究会に関すること など)
資料調査(歴史資料の調査・整理)

〔執筆〕

「江戸時代における近江国の「ふなずし」」(『栗東歴史民俗博物館紀要』第18号) 平成24年3月

〔館外活動〕

大谷大学非常勤講師

「古文書解読法および古文書演習」 平成23年4月1日～平成24年3月31日

龍谷大学エクステンションセンターコミュニティカレッジ(REC) 講師

「近江朝の諸政策」 平成23年5月～7月のうちで6回

「ふなずし、その歴史を探る」 平成23年12月～平成24年1月のうちで6回

隅川 明宏

〔職務分掌〕

学芸業務(博物館教室「昔の暮らし」の開催の補助 など)
資料調査(歴史資料の調査・整理)

赤尾 和美

〔職務分掌〕

博物館の一般事務の補助(受贈図書・ポスター等の受け入れ・整理、博物館図録の在庫管理 など)

(4) 博物館協議会

(i) 委員

会 長

澁江 善光 (栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会会長)

副会長

月野 みつ (社会教育講座講師)

委 員

石丸 正運 (元滋賀県立近代美術館館長)

大橋 信弥 (滋賀県立安土城考古博物館学芸課長)

葛城 直人 (栗東市立治田小学校校長)

澤 絢子 (栗東市社会教育委員)

西尾 悦子 (治田東主任児童委員)

山内 君代 (画家)

山本 喜三雄 (栗東市文化協会副会長)

吉見 静子 (栗東市文化財審議会委員)

(ii) 協議事項

第41回 平成24年3月8日(木)午前10時から

協議事項 (1)平成23年度博物館事業報告

(2)平成24年度博物館事業計画

(5) 決算

歳入

歳入	2,712,878
歴史民俗博物館施設使用料	73,000
歴史民俗博物館図録頒布代等	273,326
緊急雇用創出特別推進事業補助金	2,366,552

歳出

歳出	44,350,810	
職員給与費	12,693,962	
資料調査事業	7,083,447	
賃金	資料調査員等賃金	6,980,483
需用費	消耗品費	102,964
企画展等開催事業	71,169	
需用費	消耗品費	71,169
博物館管理運営経費	24,502,232	
報酬	協議会委員等報酬	32,600
賃金	事務補助員等賃金	2,171,309
報償費	博物館資料取扱指導員謝礼	121,600
旅費	文化庁主催研修受講等	137,320
需用費	消耗品費	231,186
	燃料費	2,000
	印刷製本費	386,400
	光熱水費	9,282,087
	修繕料	3,687,075
役務費	通信運搬費	186,589
委託料	施設維持・設備点等委託料	7,699,549
使用料及び賃借料	下水道使用料金等	444,122
備品購入費		59,745
負担金、補助及び交付金	日本博物館協会会費等	60,450

(6) 入館者数

前年度までの推移

年 度	一 般	高・大生	小・中生	合 計	有料入館者	研修室等	旧中島家	人数/日	開館日数
2年度	7,480	195	2,110	9,785	1,746	584	—	63.95	153
3年度	12,346	472	4,683	17,501	2,634	3,620	—	58.73	298
4年度	12,620	718	5,420	18,758	3,845	3,422	—	66.05	284
5年度	13,266	870	5,166	19,302	3,984	5,435	—	67.02	288
6年度	12,404	635	4,489	17,528	3,481	6,990	11,902	60.86	288
7年度	13,248	902	4,454	18,604	3,354	6,247	9,168	63.71	292
8年度	11,559	468	3,168	15,195	3,738	7,063	7,547	53.50	284
9年度	13,052	432	3,658	17,142	3,400	3,702	7,949	59.11	290
10年度	11,595	332	3,597	15,524	2,339	6,877	7,676	54.86	283
11年度	11,976	359	3,673	16,008	3,117	6,090	8,129	56.36	284
12年度	12,082	417	3,651	16,150	3,033	5,876	8,643	56.27	287
13年度	9,029	442	3,825	13,296	2,403	467	8,979	47.15	282
14年度	8,814	390	2,102	11,306	2,229	2,370	6,614	38.99	290
15年度	8,094	343	3,078	11,515	2,780	5,393	7,201	43.13	267
16年度	7,148	188	3,285	10,621	2,097	4,372	6,227	40.38	263
17年度	6,942	180	3,302	10,424	2,285	3,848	4,841	39.63	263
18年度	8,700	187	4,714	13,601	2,278	7,100	5,678	53.13	256
19年度	7,714	177	2,878	10,769	2,063	6,278	4,840	39.30	274
20年度	8,119	147	3,337	11,603	1,602	5,462	4,967	44.29	262
21年度	7,784	79	1,824	9,687	—	5,291	4,256	35.48	273
22年度	9,658	45	5,339	15,042	—	8,190	4,930	61.90	243

平成 23 年度

月	入館者			合計	有料入館者	研修室等	旧中島家	人数/日数	開館日数
	一般	高・大生	小・中生						
23年 4月	180	0	63	243	—	132	150	14.29	17
5月	407	5	77	489	—	66	229	19.56	25
6月	312	6	55	373	—	35	222	14.35	26
7月	194	6	39	239	—	48	131	13.28	18
8月	337	32	212	581	—	101	193	22.35	26
9月	598	1	266	865	—	602	311	54.06	16
10月	701	1	1,214	1,916	—	1,360	854	87.09	22
11月	540	3	296	839	—	452	288	34.96	24
12月	186	1	49	236	—	181	103	18.15	13
24年 1月	1,590	2	1,727	3,319	—	3,095	841	144.30	23
2月	1,016	2	1,312	2,330	—	2,349	1,082	137.06	17
3月	581	0	206	787	—	308	303	32.79	24
合計	6,642	59	5,516	12,217	—	8,729	4,707	48.67	251

年報 平成 23 年度

編集 栗東歴史民俗博物館

〒520-3016

滋賀県栗東市小野 223-8

TEL077-554-2733

FAX077-554-2755

<http://www2.city.ritto.shiga.jp/hakubutsukan/>